

充電式サイクロンスティッククリーナー SCD-190P_SCD-S1P

充電式サイクロンスティッククリーナー

型番:SCD-190P/SCD-S1P



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- ・ この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ・ ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- ・ ヘルプガイドの使いかたは、「ヘルプガイドについて」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

ヘルプガイドについて

ここでは「ヘルプガイド」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
Microsoft Edge(最新版)、Google Chrome(最新版)

ーヘルプガイドについて



① メニュー/検索タブ

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

② メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

③ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

④ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

⑤ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

⑥ 関連ページリンク

選択すると、ヘルプガイド内の該当ページが表示されます。

— 検索について



⑦ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑧ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、ヘルプガイド内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

もくじ

daspo を使いこなす.....	6
ちりとりモードについて.....	6
用途にあわせて上手に使い分け.....	10
確認と準備.....	17
各部の名称.....	17
本体.....	18
ダストカップ.....	19
延長パイプ・フロアヘッド.....	20
操作パネル.....	21
フロアヘッド底面.....	22
付属品.....	23
充電スタンドの組み立て.....	32
クリーナーを組み立てる・分解する.....	35
充電する.....	38
アタッチメント・付属品を収納する.....	43
収納する.....	43
使いかた.....	46
掃除する.....	46
付属品を使って掃除する.....	51
静電モップの使いかた.....	54

モップ帯電ケースの取り付けかた.....	57
ゴミを捨てる.....	59
ごみ捨て.....	59
お手入れ.....	62
お手入れの時期・方法について.....	62
1 週間に 1 回程度.....	63
1 か月に 1 回程度.....	65
汚れが目立ってきたら.....	74
故障かな？と思ったら.....	78
電源・充電について.....	78
動作について(吸引力).....	80
動作について(回転ブラシ・その他).....	82
センサーランプについて.....	84
その他の情報.....	85
安全上の注意.....	85
使用上の注意.....	90
廃棄について.....	91
仕様.....	92
別売品・消耗部品について.....	93
バッテリーの交換.....	95
保証とアフターサービス.....	97
お問い合わせ.....	98

daspo を使いこなす

ちりとりモードについて

早朝・深夜の時間帯、お子さまの就寝中などでクリーナーの音が気になるときに…



ちりとりボタンを押すと、静かに掃除できます。

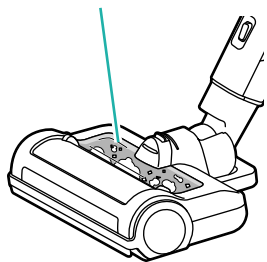
—ちりとりモード・クリーンモードの使いかた

ちりとりモードは、音と排気・運転時間を気にせずに気軽に掃除ができるモードです。

ちりとりボタンを押すと、ちりとりモードで運転を開始します。

動作時	センサーランプの色
ちりとりモード	■
クリーンモード	■

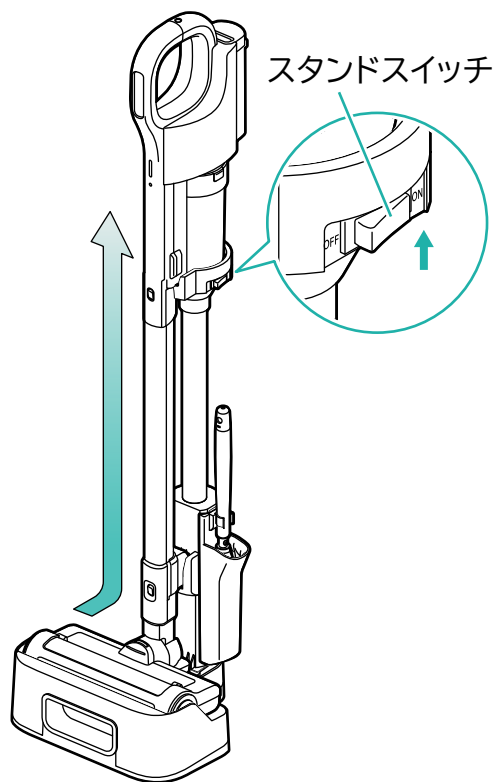
ごみためスペース



フロアヘッドのごみためスペースにたまったごみをダストカップに吸引するには、下記の2つの方法から選ぶことができます。

・自動クリーン

ちりとりモード動作後、電源を切り、充電スタンドのスタンドスイッチがONのときにクリーナーを立てかけると、自動でクリーンモードが開始され、数秒間ごみためスペースにたまっているごみを吸い上げることができます。



※ ちりとりモード動作後のみ自動でクリーンモードがスタートします。標準・ターボモード、自動モード動作後はクリーンモードはスタートしません。

- ・手動クリーン

ちりとりモード動作後、電源を切り、充電スタンドのスタンドスイッチが OFF のときにクリーナーを立てかけ、ちりとりボタンを押すとクリーンモードが開始されます。

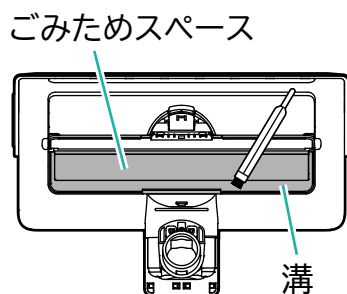
※ クリーンモード中に、他のボタンを押すとクリーンモードは停止します。

- ・フロアヘッドのごみためスペースや溝はクリーニングブラシを使って定期的にお手入れしてください。

ごみためスペースが汚れていると、ちりとりカバーがうまく閉まらず、吸引力が低下してしまうことがあります。使用前に必ずちりとりカバーが閉まっていることを確認してください。

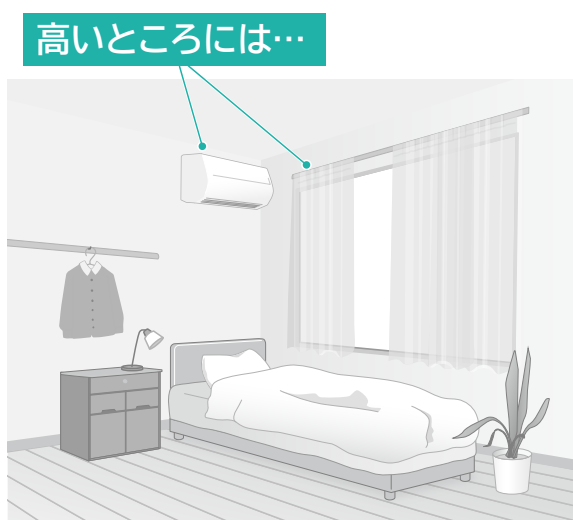


注意



用途にあわせて上手に使い分け

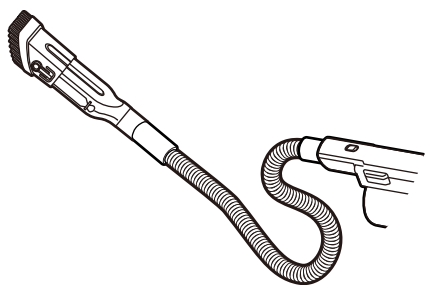
- [高いところには… P10](#)
- [窓のサッシには… P12](#)
- [家具などのせまいすき間には… P13](#)
- [布団の掃除には… P14](#)
- [車内などの掃除には… P15](#)
- [ほこりを取るには… P15](#)



SCD-S1P の場合



フレキシブルホース

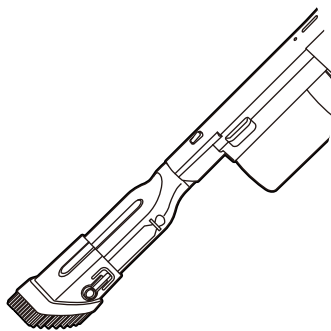


[付属品を使って掃除する P51](#) を参照

窓のサッシには…



ブラシノズル



[付属品を使って掃除する P51](#) を参照



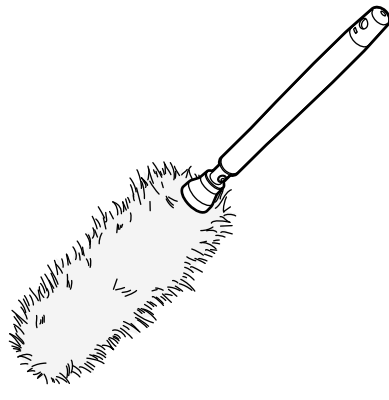
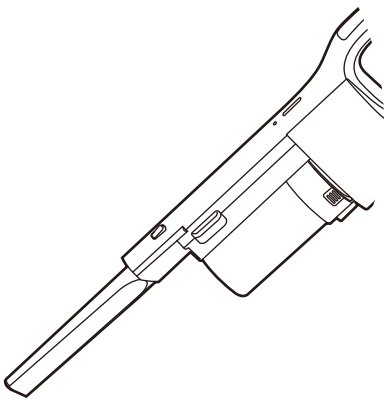
家具などのせまいすき間には…

ほこりが多い場合



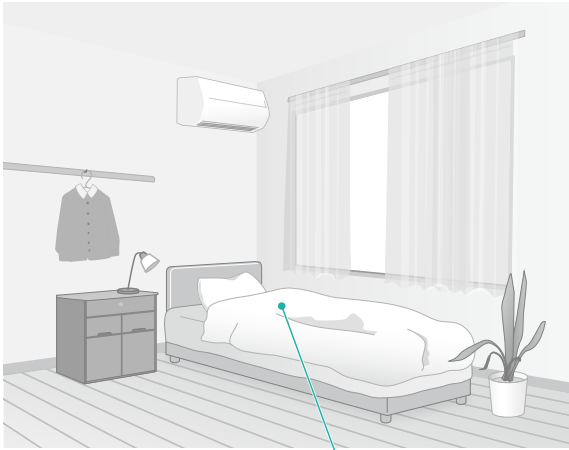
すき間ノズル

静電モップ



付属品を使って掃除する [P51](#) を
参照

静電モップの使いかた [P54](#) を参
照

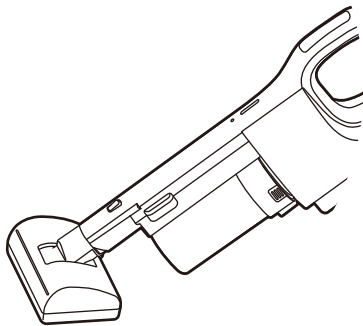


布団の掃除には…

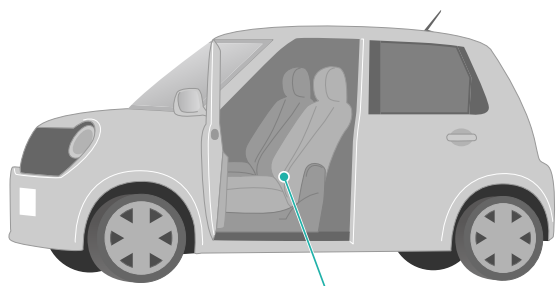
SCD-S1P の場合



布団用パワーヘッド



[付属品を使って掃除する P51](#) を参照

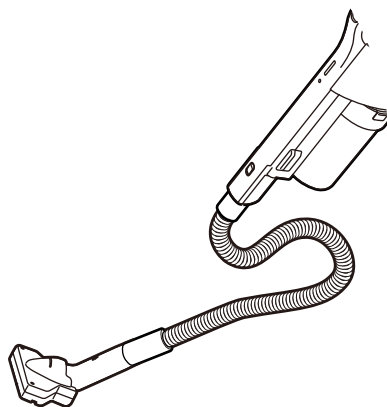


車内などの掃除には…

SCD-S1P の場合



ミニヘッド

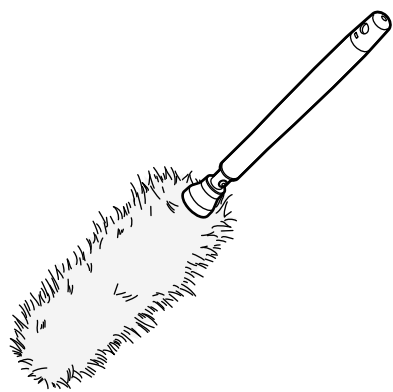


[付属品を使って掃除する P51](#) を参照

ほこりを取るには…



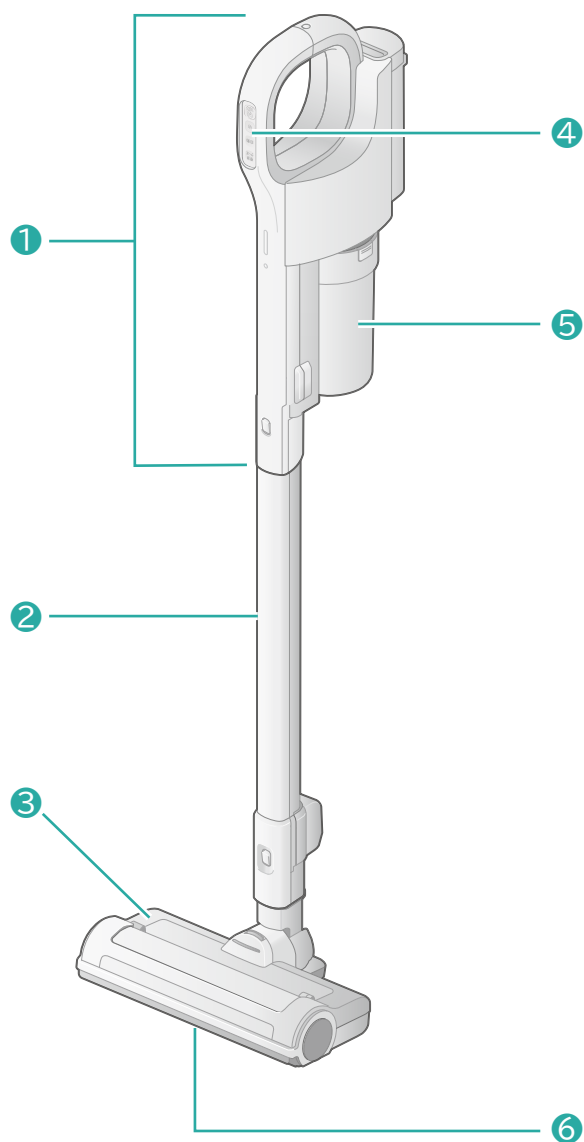
静電モップ



[静電モップの使いかた P54](#) を参照

確認と準備

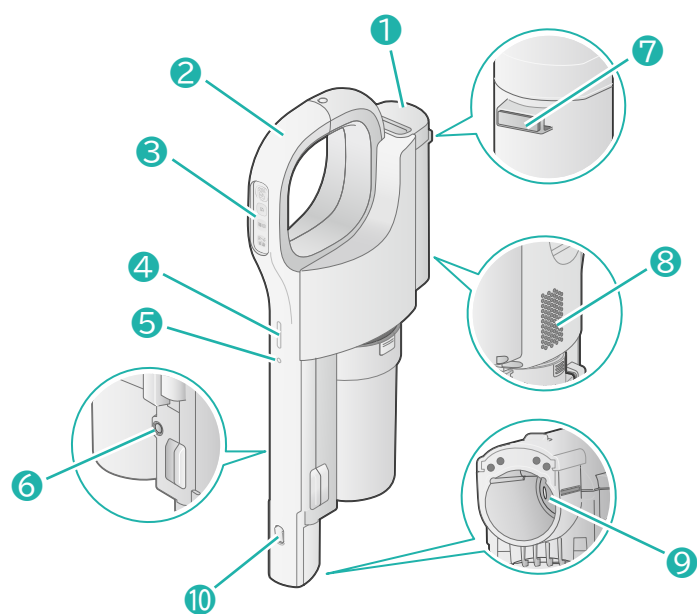
各部の名称



各部の名称	
①	本体 P18
②	延長パイプ P20
③	フロアヘッド P20
④	操作パネル P21
⑤	ダストカップ P19
⑥	フロアヘッド底面 P22

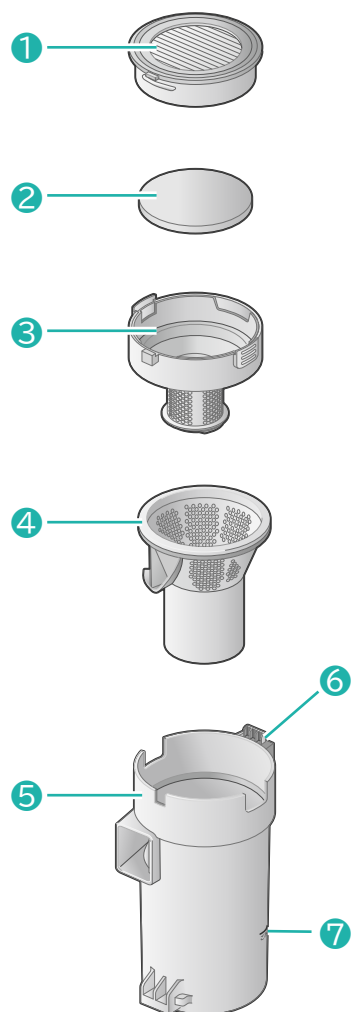
各部の詳細については、上記のリンクをクリックしてください。

本体



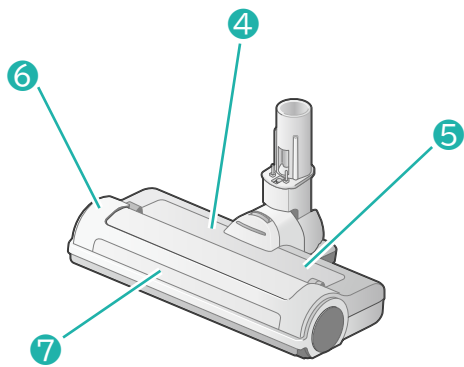
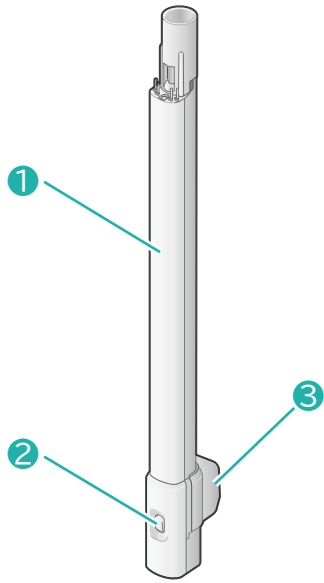
- ① バッテリーカバー
- ② 本体
- ③ 操作パネル
- ④ センサーランプ
- ⑤ バッテリーランプ
- ⑥ 充電ジャック
- ⑦ 滑り止めゴム
- ⑧ 排気口
- ⑨ ほこり感知センサー
- ⑩ 取り外しボタン

ダストカップ



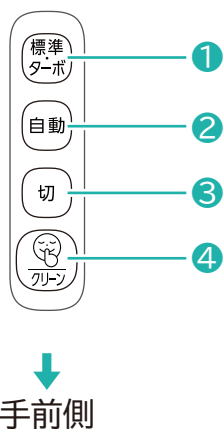
- ① 排気フィルター
- ② スポンジフィルター
- ③ サイクロンユニット(上)
- ④ サイクロンユニット(下)
- ⑤ ダストカップケース
- ⑥ ダストカップ取り外しボタン
- ⑦ ごみすてライン

延長パイプ・フロアヘッド



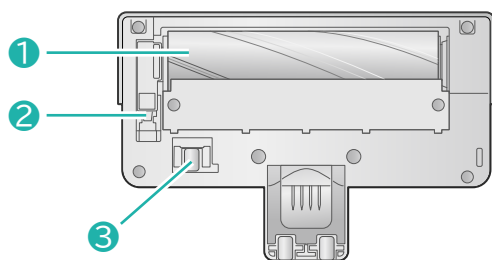
- ① 延長パイプ
- ② 取り外しボタン
- ③ 充電コネクタ
- ④ ごみためスペース
- ⑤ ちりとりカバー
- ⑥ フロアヘッド
- ⑦ LED ライト

操作パネル



- ① 標準・ターボモードボタン
- ② 自動モードボタン
- ③ 切(停止)ボタン
- ④ ちりとりボタン

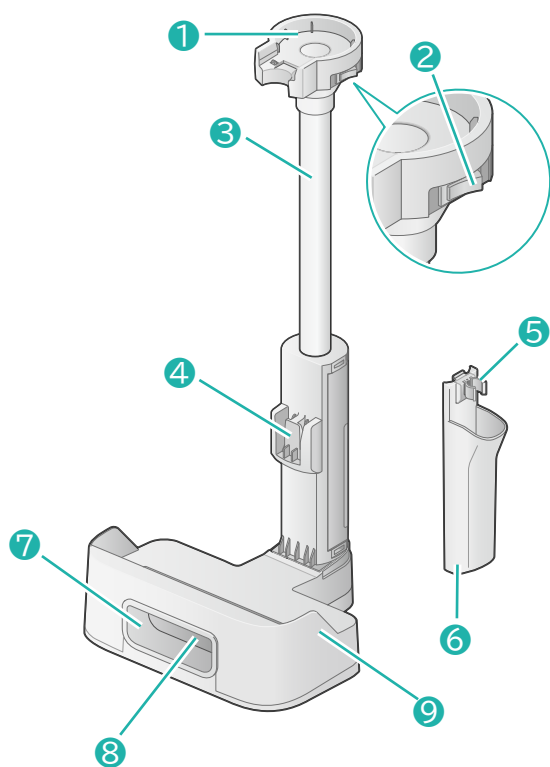
フロアヘッド底面



- ① 回転ブラシ
- ② ブラシカバー
- ③ 回転ブラシスイッチ

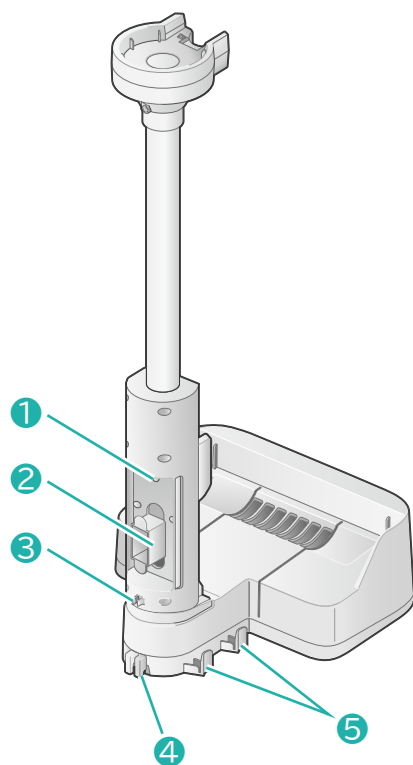
付属品

充電スタンド



- ① ダストカップ受け
- ② スタンドスイッチ
- ③ 支柱
- ④ フック
- ⑤ クリップ
- ⑥ モップ帯電ケース
- ⑦ 静電モップ用吸い込み口
- ⑧ 除電プレート
- ⑨ ベース

充電スタンド背面



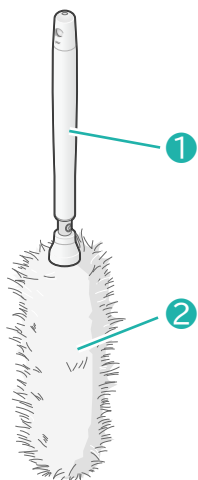
- ① 充電ジャック
- ② コードホルダー
- ③ クリーニングブラシホルダー
- ④ コードクリップ
- ⑤ アタッチメントホルダー

→ [SCD-190P P25](#)

→ [SCD-S1P P28](#)

—SCD-190P

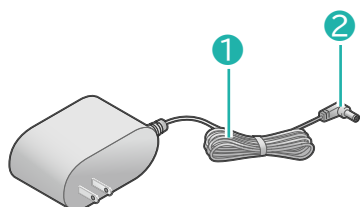
静電モップ



① ハンドル

② モップ部

充電アダプター



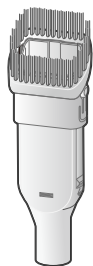
① 充電コード

② 充電プラグ

すき間ノズル



ブラシノズル

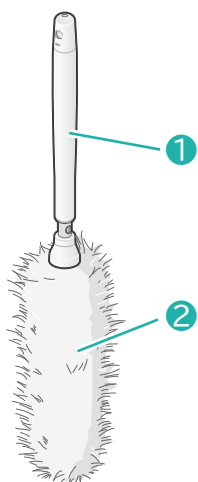


クリーニングブラシ



—SCD-S1P

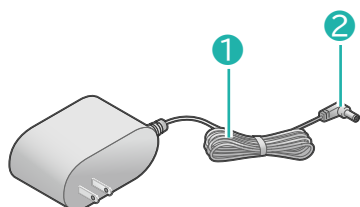
静電モップ



① ハンドル

② モップ部

充電アダプター



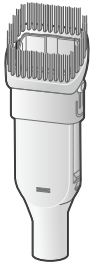
① 充電コード

② 充電プラグ

すき間ノズル



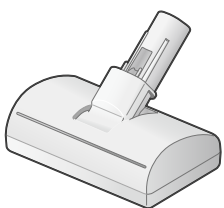
ブラシノズル



フレキシブルホース



布団用パワーヘッド



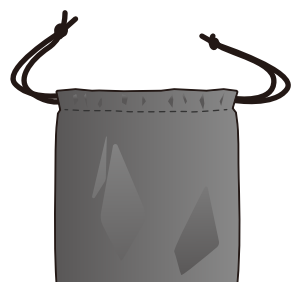
ミニヘッド



クリーニングブラシ



アタッチメント収納



充電スタンドの組み立て

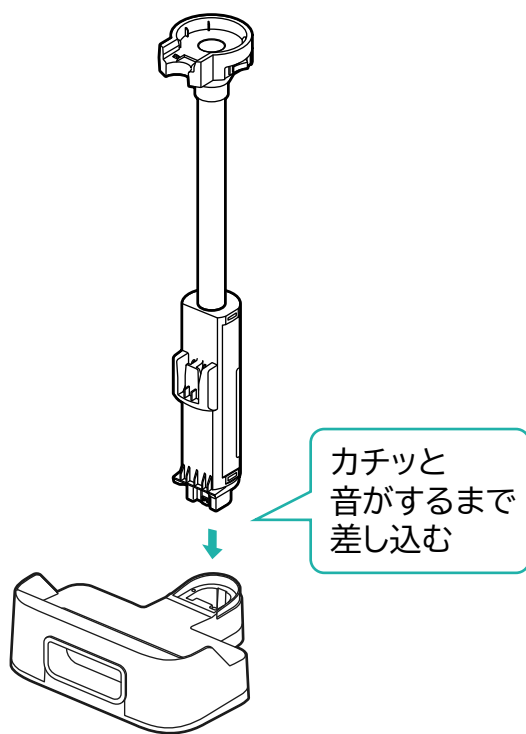


注意

- ・必ず壁際で使用する
- ・カーペットの上など不安定な場所に置かない
- ・フローリングなど、硬い安定した床の上に置く
万一人がぶつかって倒れたりした場合は、けがや周囲の物品を破損する原因になります。

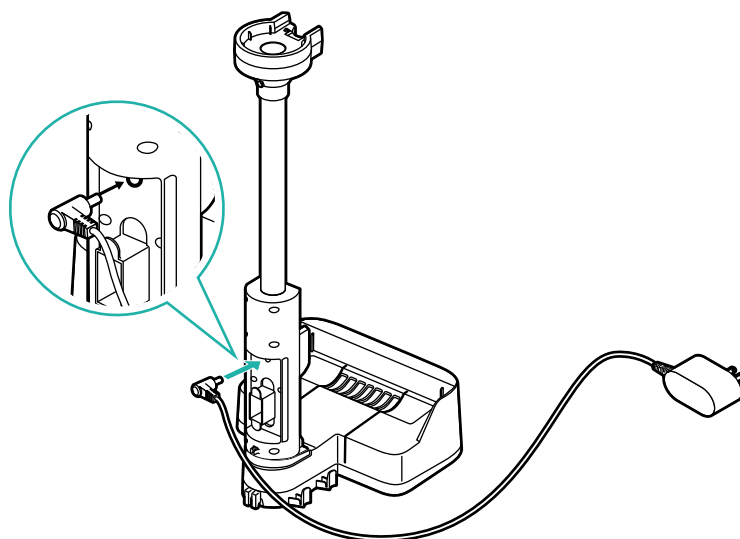
組み立てる

- ・ベースの差し込み穴に、支柱をしっかりと差し込んでください。



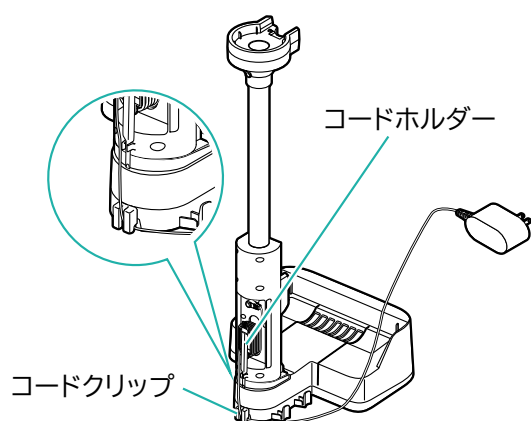
充電アダプターの充電プラグを、充電スタンド背面の充電ジャックに差し込む

2



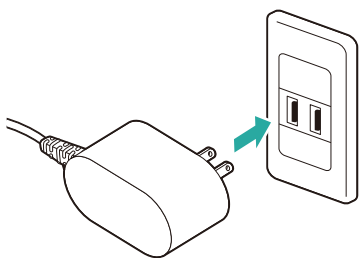
余分な充電コードを充電スタンド背面のコードホルダーに巻き、最後にコードクリップにはさむ

3



充電アダプターをコンセントに差し込む

4

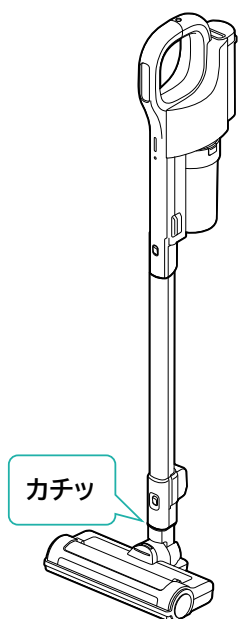


クリーナーを組み立てる・分解する

本製品は、本体または延長パイプにフロアヘッドまたはアタッチメントを用途に応じて組み合わせて使用することができます。

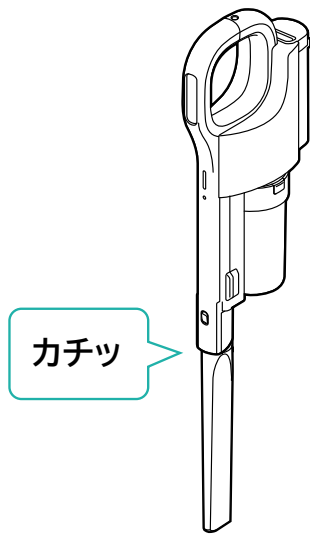
—スティッククリーナーとして使用するとき

延長パイプとフロアヘッドをカチッと音がするまで差し込みます。



—ハンディクリーナーとして使用するとき

付属のアタッチメントを直接差し込みます。

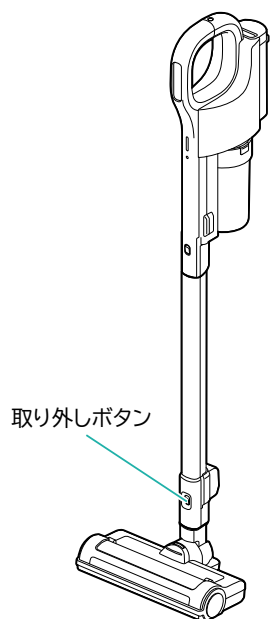


❗ お願い

- ・ 組み立てた後は、倒れないように横に寝かせて置いてください。

—延長パイプ・フロアヘッドの取り外しかた

取り外しボタンを押しながら引き抜きます。



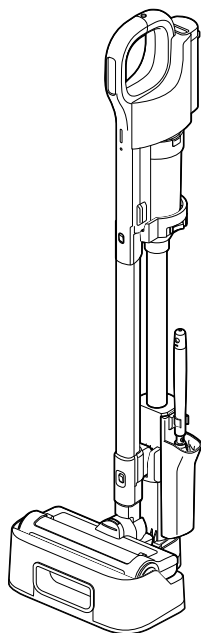
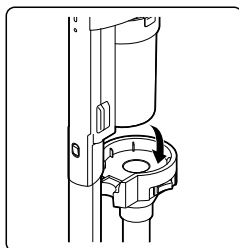
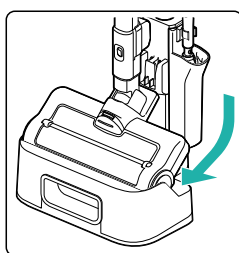
充電する

！ お願い

- ・ バッテリーは、購入時点では十分に充電されていません。使用する前に必ず充電してください。

ダストカップが充電スタンドのダストカップ受けに確実に載るように、充電スタンドにクリーナーを立てかける

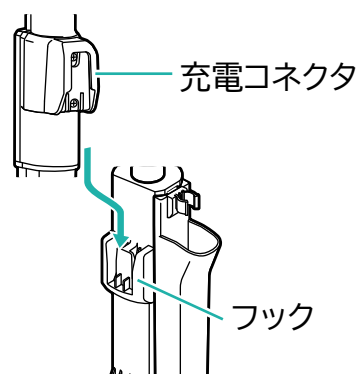
1. フロアヘッドの前方を充電スタンドに合わせる
2. ダストカップ受けに立てかける



延長パイプの充電コネクタが、充電スタンドのフックに確実にかかっていることを確認してください。



注意



バッテリーランプが赤色に点灯し、充電が開始される

2



● 点灯

充電が完了すると、バッテリーランプが消灯する

3



○ — 消灯

バッテリーについて

- 充電中に、バッテリーや充電アダプターが温かくなることがありますが、異常ではありません。
- 充電時間・使用時間は、温度や使用状況により変化します。
- 充電は、室温 5～35℃の範囲で行ってください。室温が低かったり、直射日光が当たるなどして高温になると、正常に充電されず、使用時間が短くなったり、充電時間が長くなったりします。
- 長期間(10 日以上)充電せずに放置したときは、必ず充電してから使用してください。

―壁に立てかけて充電する

充電スタンドを使用しない場合、滑り止めゴムを使用して、壁に立てかけることができます。

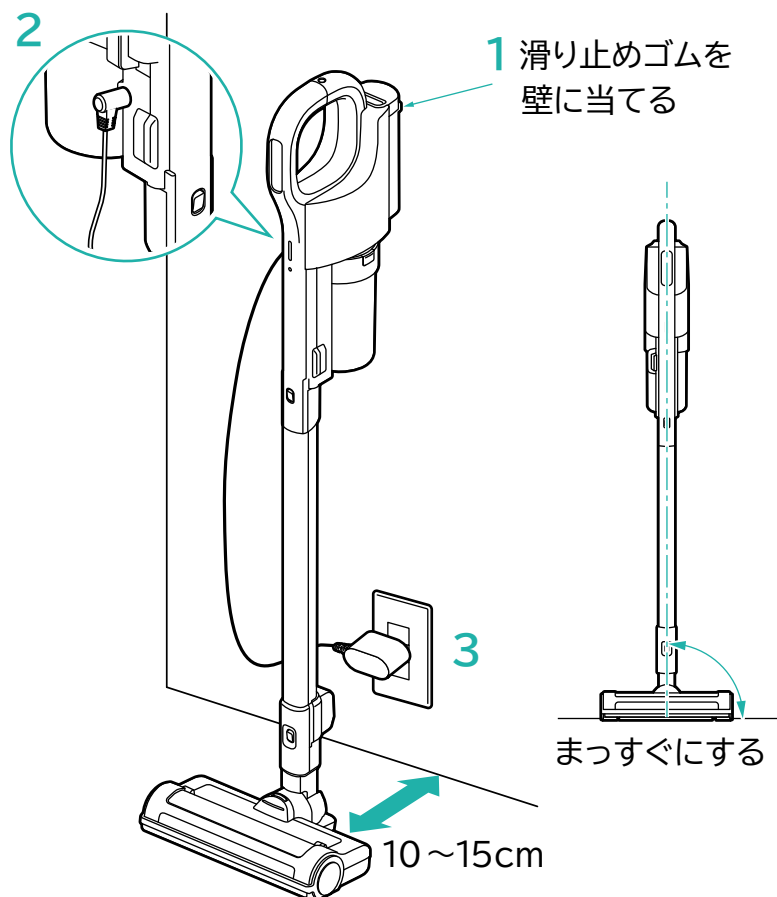
1 滑り止めゴムを壁に当て、壁に立てかける

2 充電プラグを本体の充電ジャックに差し込む

充電アダプターをコンセントに差し込む

3

- ・ バッテリーランプが赤色に点灯し、充電が開始されます。
- ・ 充電が完了すると、バッテリーランプが消灯します。



転倒するとけがの原因になります。壁に立てかけるときは、次のことに注意してください。



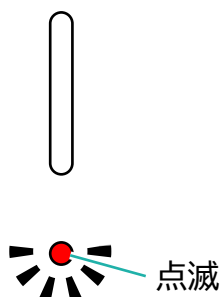
注意

- ・ 周囲に壊れやすいものを置かないでください。
- ・ 子どもやペットの近づけないところに置いてください。
- ・ 滑りやすい壁には立てかけないでください。滑りやすい場合は、無理に立てかけず、横に置いて充電してください。

- ・ ななめにしたり、フロアヘッドを壁から離しすぎたり、近づけすぎたりしないでください。
- ・ フロアヘッドを逆さまにしたり、ななめにしたりしないでください。

— バッテリー残量について

- ・ バッテリー残量が少なくなると、バッテリーランプが赤色に点滅してお知らせします。



バッテリーランプ	バッテリー残量
ゆっくり点滅	少ない
ゆっくり点滅後、消灯	残量なし

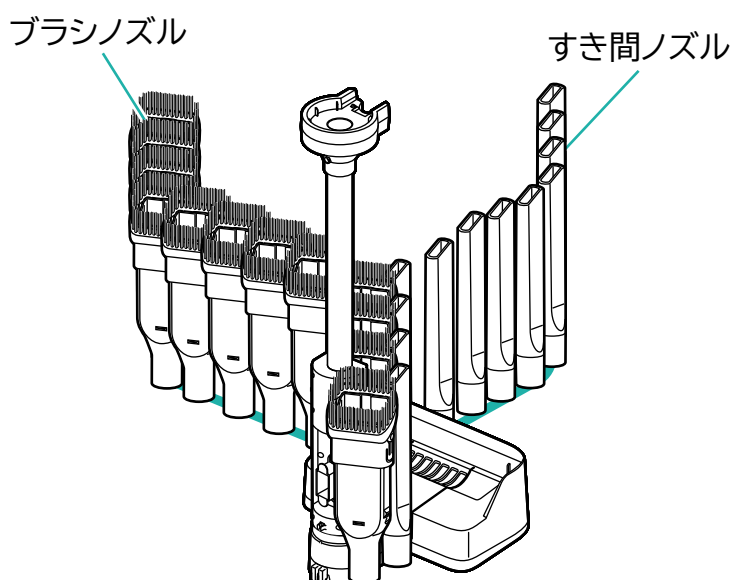
- ・ バッテリーランプが点滅したら充電してください。

アタッチメント・付属品を収納する

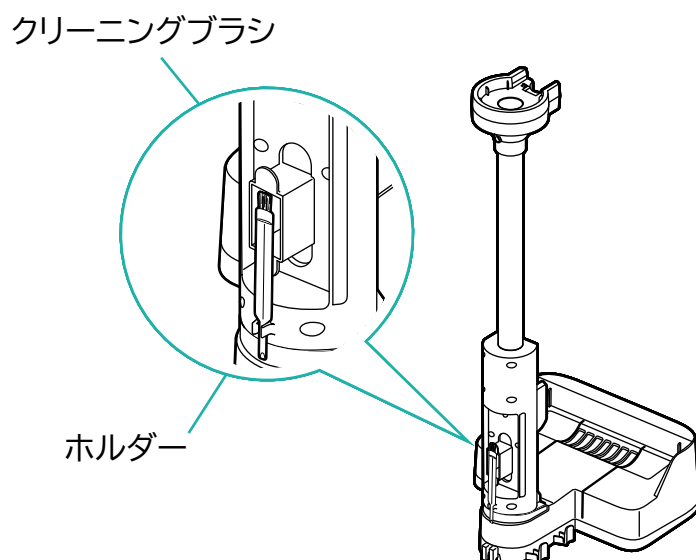
収納する

—アタッチメント・付属品を収納する

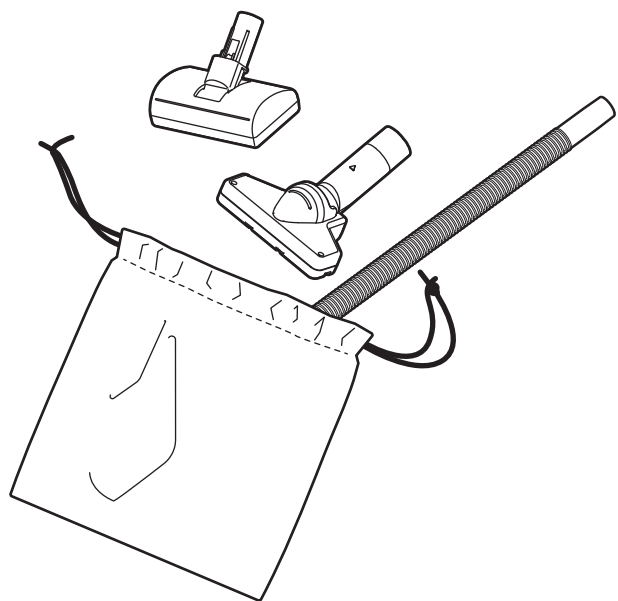
- すき間ノズル、ブラシノズルは、充電スタンド側面のアタッチメントホルダーに差し込んでおくことができます。



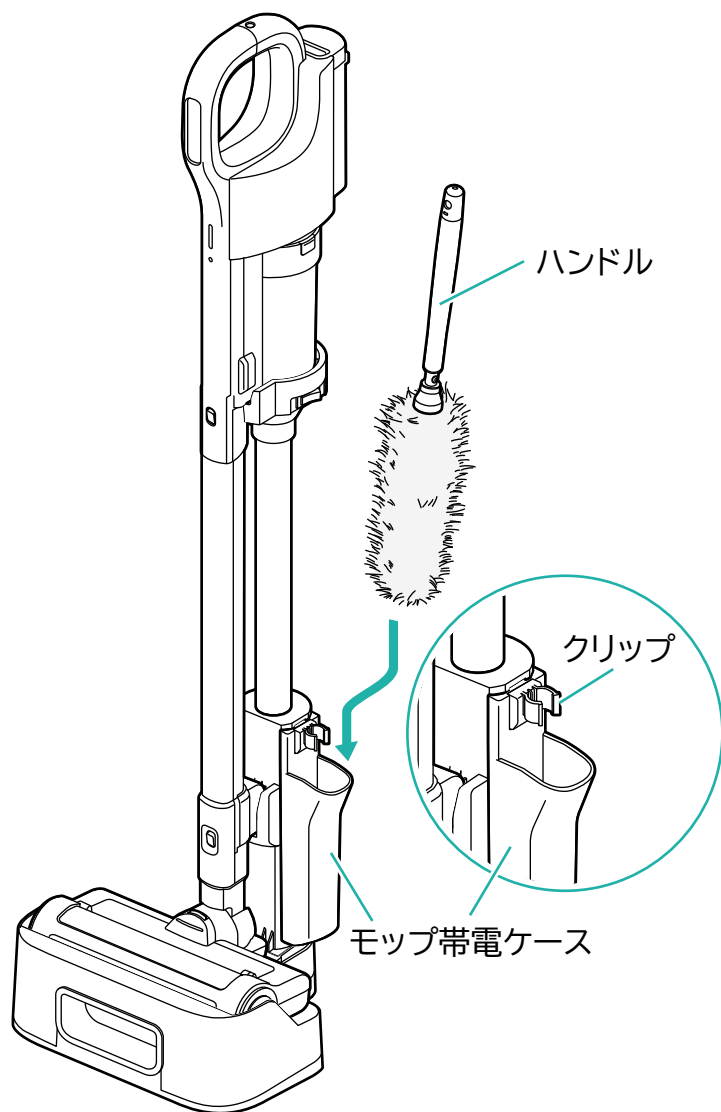
- クリーニングブラシは、充電スタンド背面のホルダーに差し込んでおくことができます。



- アタッチメント収納袋に、すき間ノズル、ブラシノズル、フレキシブルホース、ミニヘッド、布団用パワーヘッドを入れて保管できます。(SCD-S1のみ)



- 静電モップは、モップ部をモップ帯電ケースに入れ、ハンドルをクリップに固定します。



関連ページ

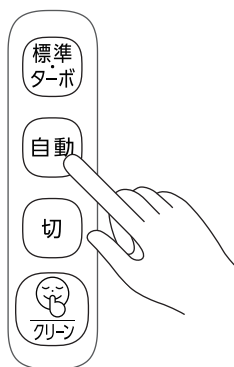
- [モップ帯電ケースの取り付けかた P57](#)

使いかた

掃除する

ボタンを押して運転モードを選ぶ

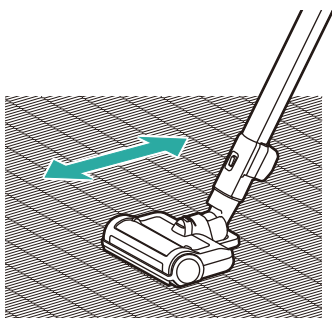
1



掃除する

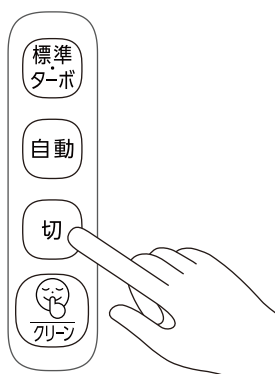
2

- ・フロアヘッドを使用して、前後にゆっくりと動かしながらごみを吸い取ってください。
- ・たたみを掃除するときは、たたみの目に沿ってフロアヘッドを動かしてください。
- ・フロアヘッドを持ち上げると、回転ブラシの回転が止まります。
- ・運転中はフロアヘッドの LED ライトが点灯します。



掃除が終了したら、切ボタンを押す

- 運転が停止します。
- バッテリーランプが点滅したら充電してください。

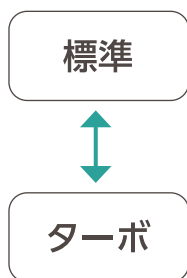


—標準・ターボモード



ボタンを押すと、標準モードで運転を開始します。ボタンを再度押すと、ターボモードに切り替わって運転します。

- ・ ボタンを押すたびに、標準モードとターボモードが切り替わります。



- ・ センサーランプの色をめやすに、標準モードとターボモードを切り替えて使用してください。

—自動モード



ボタンを押すと、自動モードで運転を開始します。ほこり感知センサーで感知したごみの量によって、吸引力を調節して運転します。

※ カーペット・寝具などで使用した場合、遊び毛や内部にたまったハウスダストを感知するため、連続して吸引力を強くして運転することがあります。

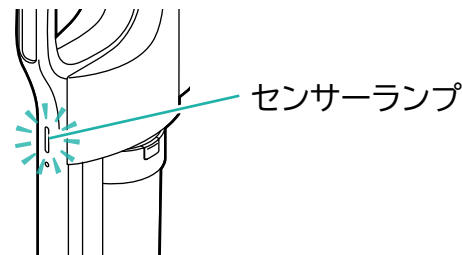
—ちりとりモード・クリーンモード



ちりとりモードは、音と排気・運転時間を気にせずに気軽に掃除ができるモードです。
ちりとりボタンを押すと、ちりとりモードで運転を開始します。

—ほこり感知センサー

ほこり感知センサーで感知したごみの量によって、ハンドルカバーのセンサーランプの色が変わります。自動モードで運転中は、センサーランプの色と連動して吸引力が変わります。



センサーランプの色	ごみの量	吸引力
	多い	強
	少ない	弱

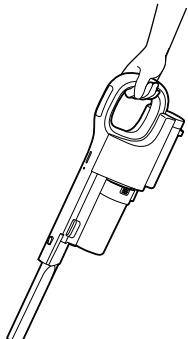
関連ページ

- [ちりとリモードについて P6](#)

付属品を使って掃除する

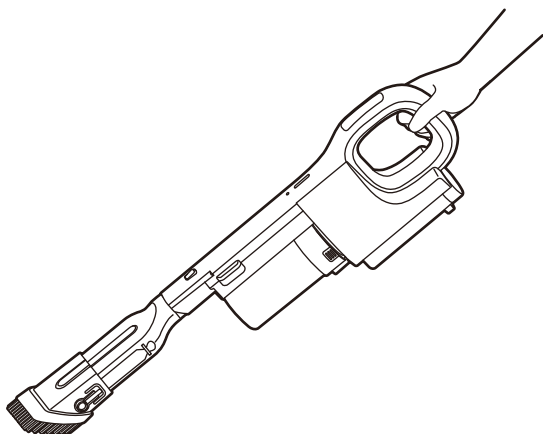
— すき間ノズル

- ・ 延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとして使用することもできます。



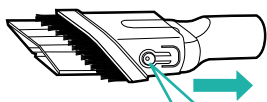
— ブラシノズル

- ・ 延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとして使用することもできます。



- ・ ブラシノズルの動かし方

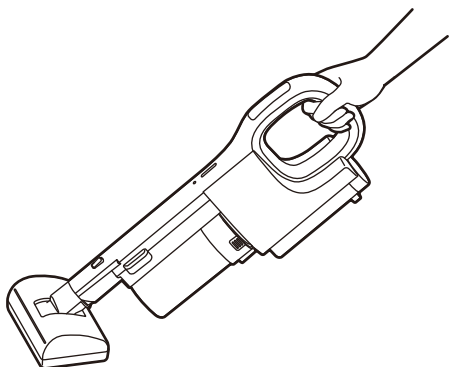
両サイドのボタンを押しながら、ブラシを横にスライドするとノズルが使用できます。



両サイドのボタンを押しながらスライドさせる

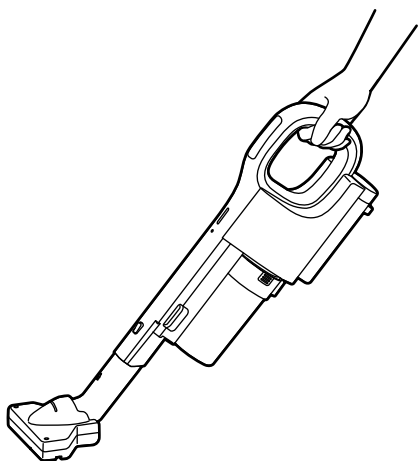
— 布団用パワーヘッド(SCD-S1P のみ)

- 延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとして使用することもできます。



— ミニヘッド(SCD-S1P のみ)

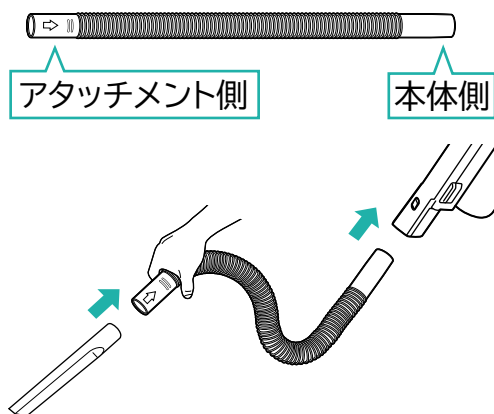
- 延長パイプを取り外して、ハンディクリーナーとして使用することもできます。



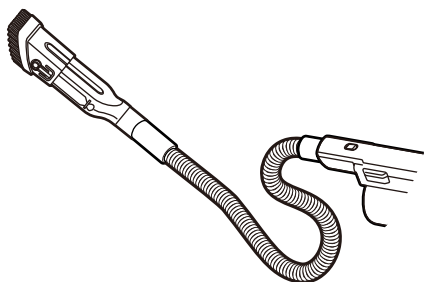
—フレキシブルホース(SCD-S1Pのみ)

- ・フレキシブルホースの取り付けかた

ホース先端の  の刻印がある側にアタッチメントを差し、逆側を本体に差し込んで取り付けます。



取り付け完了イメージ



関連ページ

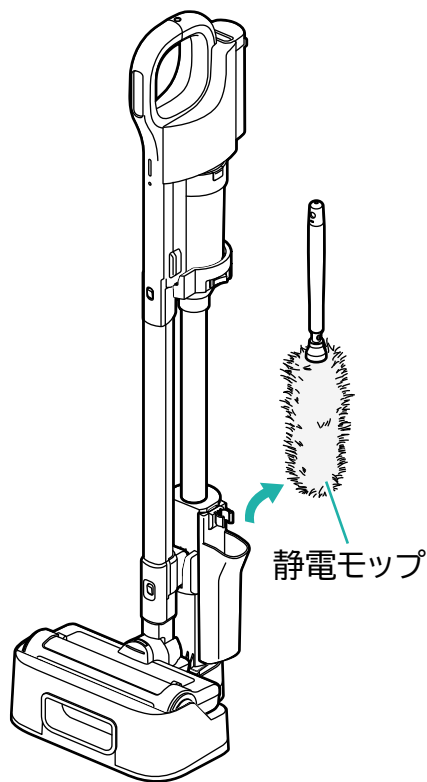
- ・ [用途にあわせて上手に使い分け P10](#)
- ・ [掃除する P46](#)

静電モップの使いかた

静電モップは、モップ帯電ケースに抜き差しすることで帯電して、効率よくごみやほこりを吸着することができます。ごみやほこりを吸着した静電モップを、充電スタンドの静電モップ用吸い込み口に入れて前後に動かすと静電気を除去しながら、静電モップについたごみ・ほこりをクリーナーで吸い取ることができます。

静電モップで掃除する

- ・ モップ帯電ケースから静電モップを取り外して使用してください。
- ・ 静電モップは、クリーナーでは届きにくい棚の上などを掃除するのに適しています。



クリーナーを充電スタンドに立てかけ、スイッチを入れる

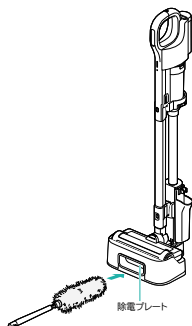
- ・ 標準モードを選んでください。
- ・ 回転ブラシが回転します。



※ ごみが取れにくいときは、ターボモードを選んでください。

充電スタンドの吸い込み口に静電モップを差し込み、ごみを吸い取る

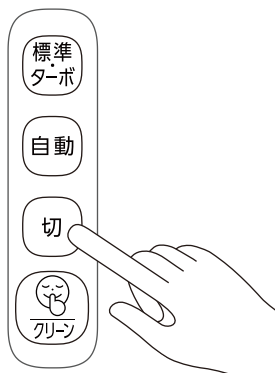
- ・ 静電モップを前後に動かすと、除電プレートで静電気を除去しながら、静電モップの汚れを吸い取ることができます。



※ 静電モップの掃除は、バッテリーの充電が残っている状態で行ってください。

クリーナーの電源を切る

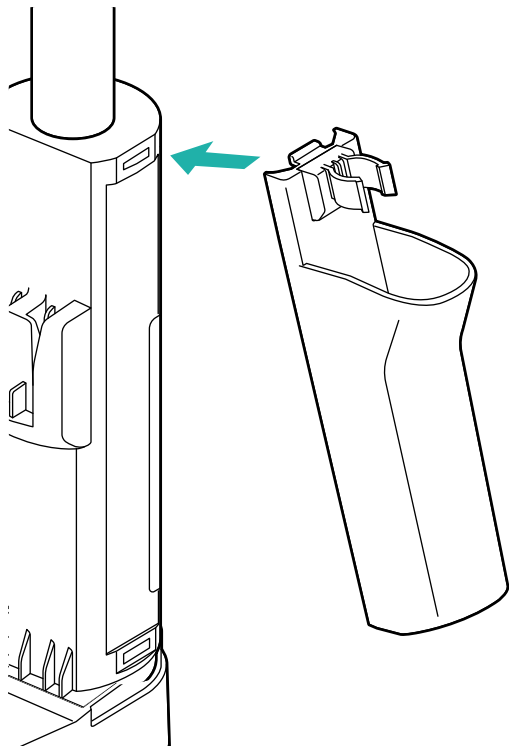
- ・ 切ボタンを押してください。



モップ帯電ケースの取り付けかた
取り付けかた

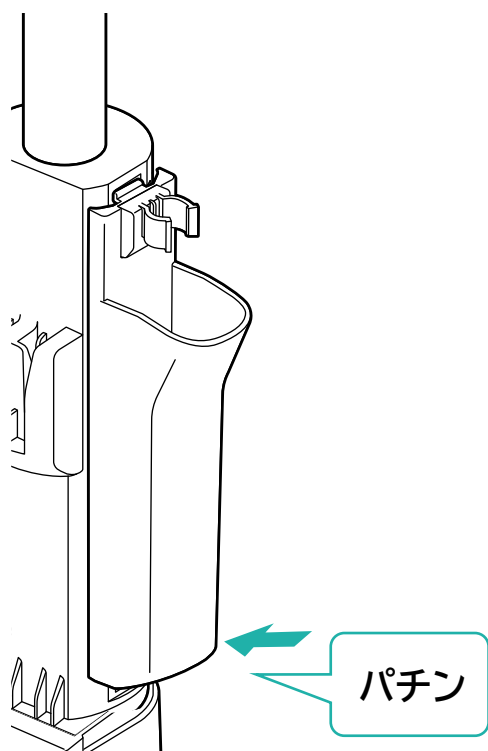
充電スタンド側面の穴につめを引っかける

1



パチンと鳴るまで押し込む

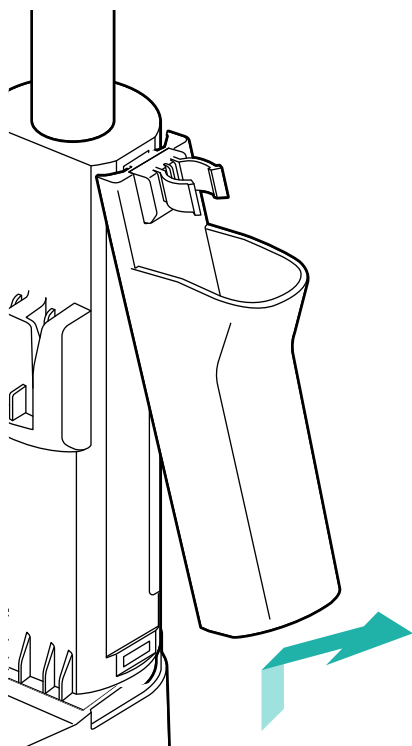
2



取り外しかた

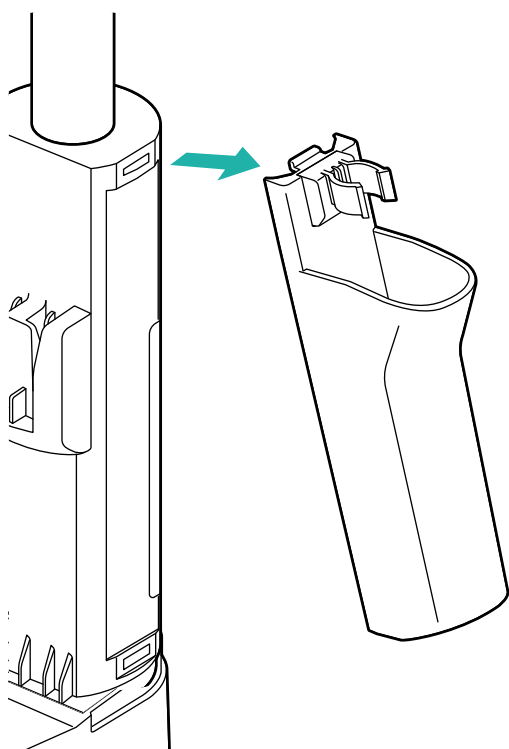
下側を上を押しながら手前に引く

1



穴からつめを取り外す

2



ゴミを捨てる

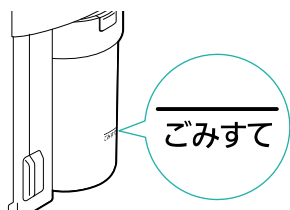
ごみ捨て



注意

- ・ ごみ捨ては、必ず電源を切り運転を停止させてから行ってください。
- ・ 運転中はダストカップを取り外さないでください。

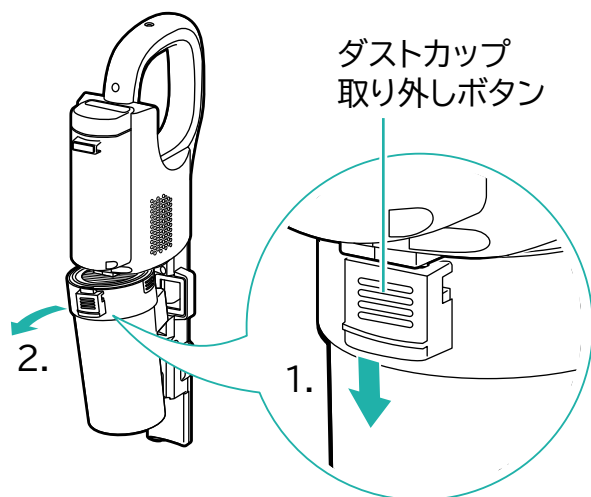
- ・ ダストカップのごみは、ごみすてライン(目安)を超える前に捨ててください。



- ・ ごみはためずに、掃除のたびに捨ててください。

ダストカップを本体から取り外す

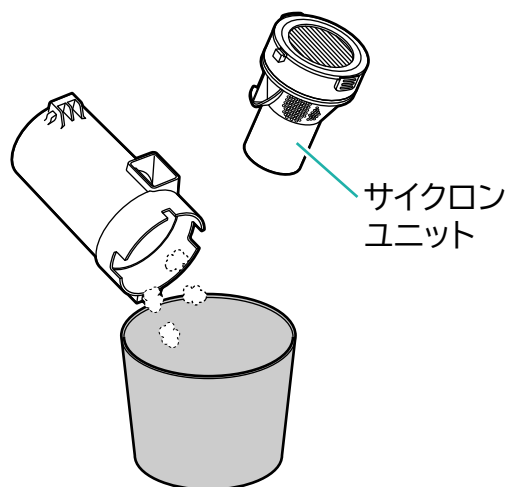
1. ダストカップ取り外しボタンをスライドさせます。
2. ダストカップが外れます。前に引き出すようにして外してください。



※ ダストカップ取り外しボタンをスライドさせずに無理に取り外すと、破損の原因になります。

ごみを捨てる

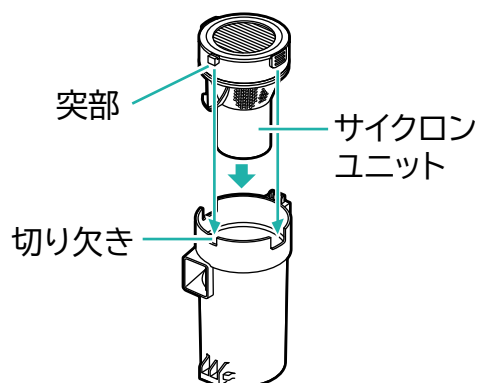
- ・ サイクロンユニットを上に向けて取り外し、ごみを捨てます。



2

※ ごみが飛び散らないように、必ずごみ箱の上で行ってください。

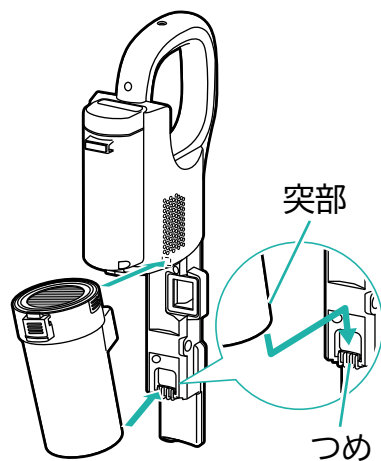
- ・ ごみ捨て後、サイクロンユニットを取り付けてください。



※ サイクロンユニットの突部をダストカップケースの切り欠きに合わせて、まっすぐ奥までしっかり取り付けてください。

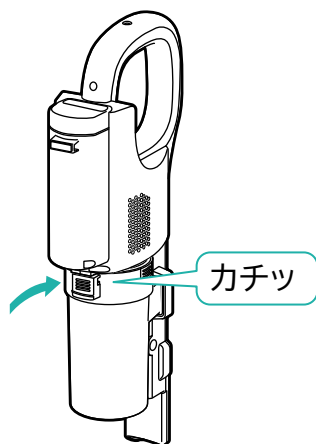
ダストカップを本体に取り付ける

1. ダストカップ下端の突部を本体のつめにひっかけます。



3

2. ダストカップ上部を、カチッと鳴るまで押し込みます。



※ ダストカップ取り外しボタンが確実に閉まっていることを確認してください。

お手入れ

お手入れの時期・方法について

お手入れ時期	お手入れ箇所	お手入れ方法
1 週間に 1 回程度 P63	本体、付属品 P63	汚れの拭き取り
	ほこり感知センサー P65	汚れの拭き取り
	本体風路・延長パイプ P65	ごみつまり除去
1 か月に 1 回程度 P65	フロアヘッド P66	ごみつまり除去
	ダストカップ P67	水洗い
	回転ブラシ(フロアヘッド) P71	水洗い
	回転ブラシ(布団用パワーヘッド) P74	水洗い
汚れが目立ってきたら P74	静電モップ・モップ帯電ケース P77	水洗い

各お手入れの説明については、上記のリンクをクリックしてください。



注意

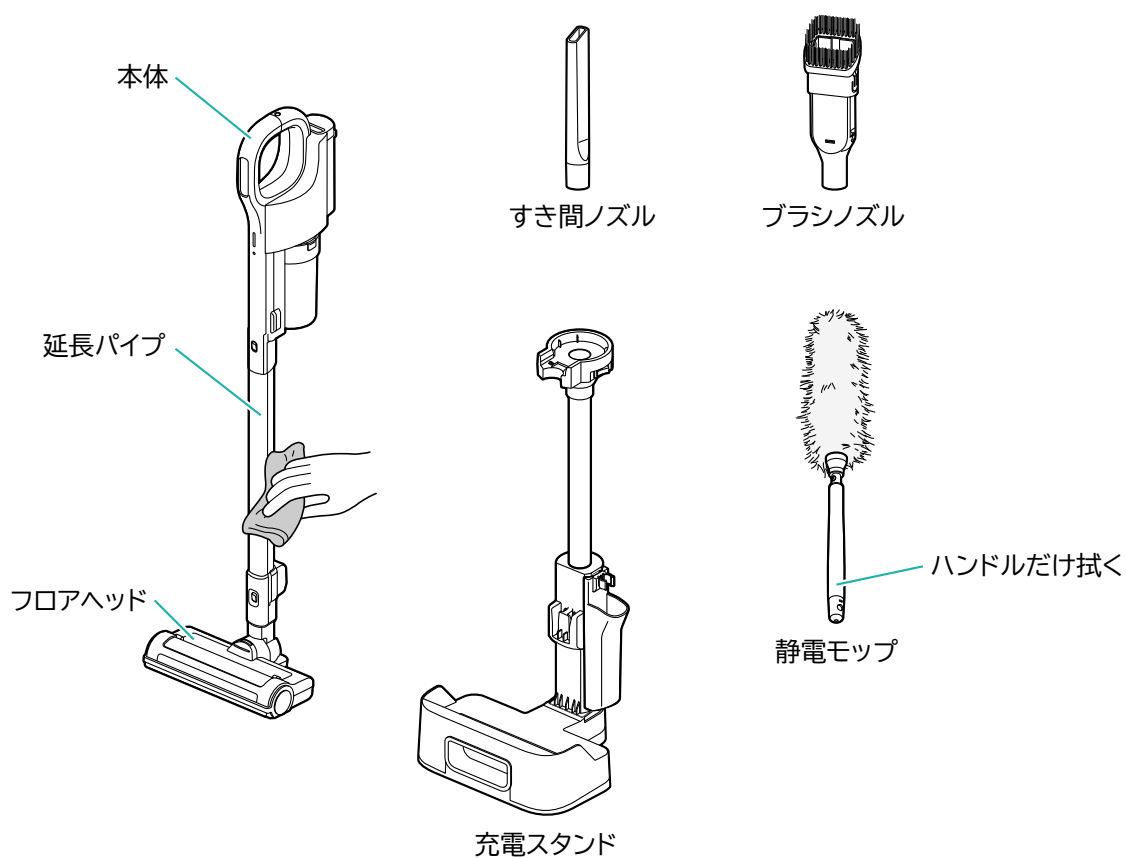
- ・お手入れは、必ず運転を停止し、本体を充電スタンドから外して行ってください。
- ・本体・充電スタンド・充電アダプターには、水をかけないでください。感電・けが・故障の原因になります。
- ・洗剤、シンナー、ベンジン、漂白剤などは使用しないでください。
- ・化学ぞうきんは使用しないでください。
- ・吸引力低下や故障の原因になります。定期的にお手入れしてください。

1 週間に 1 回程度

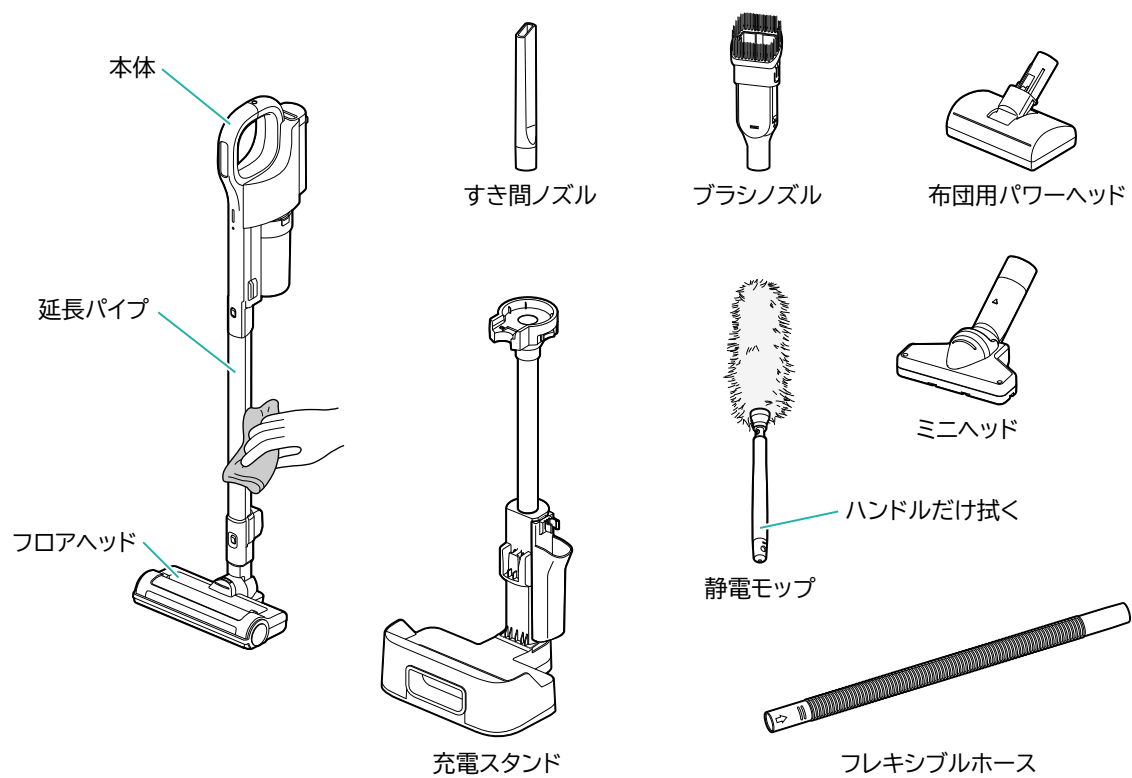
— 本体・付属品

- 水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ります。
- 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないようにかたく絞った布などで水拭きしてください。

(SCD-190P)



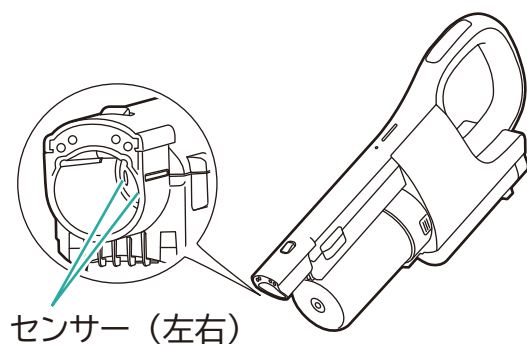
(SCD-S1P)



1 か月に 1 回程度

—ほこり感知センサー—

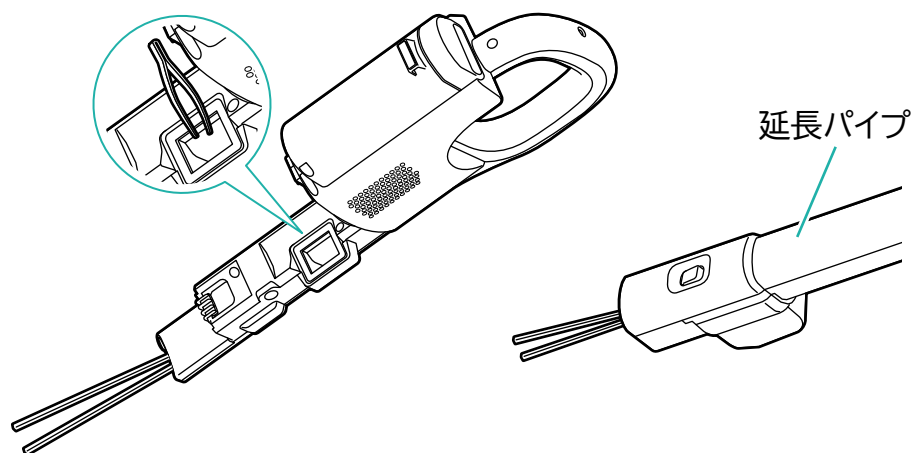
本体吸気口内部左右のセンサーを、綿棒または割りばしにティッシュペーパーなどを巻きつけて拭いてください。



—本体風路・延長パイプ—

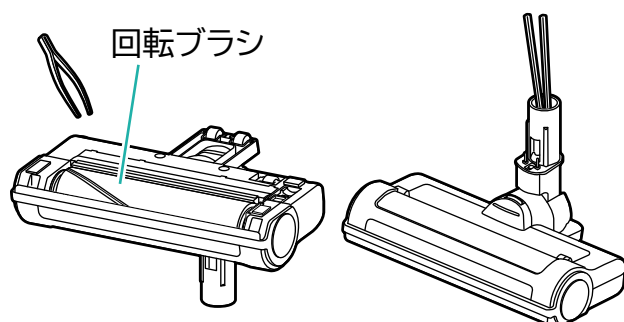
本体風路・延長パイプ内部にごみがつまると、吸引力が低下します。

定期的に点検して、ごみがつまっていたら、ピンセットや割りばしなどで取り除いてください。

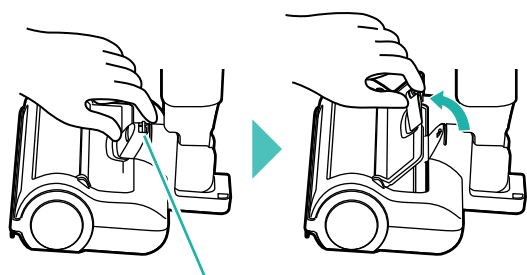


—フロアヘッド

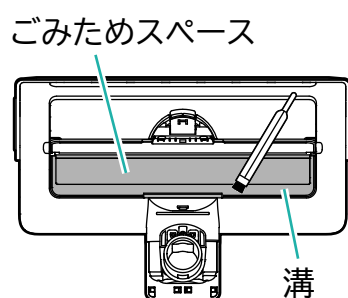
- フロアヘッドの吸い込み口にごみがつまったら、ピンセットや割りばしなどで取り除いてください。
- フロアヘッド内部にごみがつまると、吸引力が低下します。定期的に点検して、ごみがつまっていたら、ピンセットや割りばしなどで取り除いてください。



- ちりとりカバーを開けて、クリーニングブラシを使ってお手入れしてください。お手入れの際は、ヘッドの溝を忘れずに清掃してください。



ちりとりカバーのつめに指をかけ手
前に引いて開ける



—ダストカップ

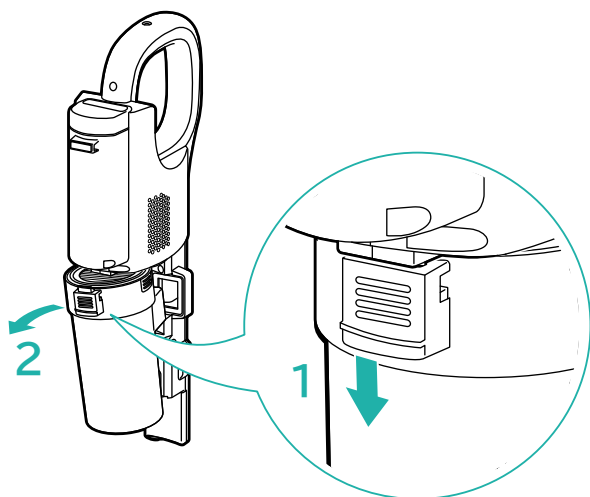
ダストカップの取り外し、分解のしかた

1 ダストカップ取り外しボタンをスライドさせる

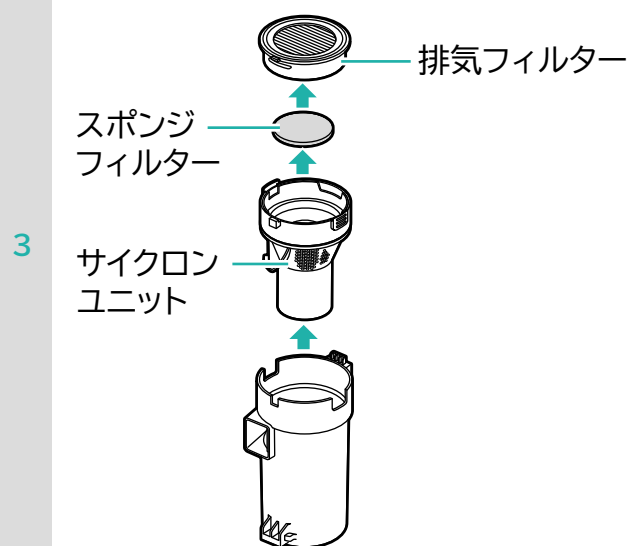
前に引き出すようにして外す

2 ※ ダストカップ取り外しボタンをスライドさせずに無理に取り外すと、破損の原因になります。

※ ダストカップにごみが入っていたら、捨ててください。

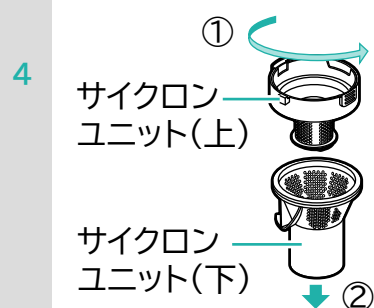


サイクロンユニット・排気フィルター・スポンジフィルターを取り外す



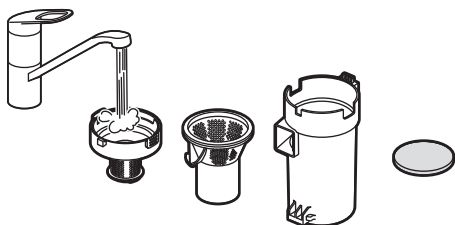
サイクロンユニットを分解する

- ・ サイクロンユニット(上)を反時計回りに回し(①)、サイクロンユニットを上下に分解します(②)。

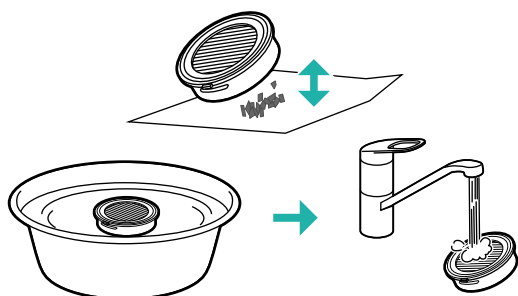


ごみを落とし、水洗いする

- ・ サイクロンユニット(上)・サイクロンユニット(下)、ダストカップケース・スポンジフィルターは、軽くたたいてごみを落とした後、水洗いしてください。



- ・排気フィルターは、こまめにゴミをたたき落としてください。汚れが気になるときは、水に約 30 分浸したあと、流水を当てて洗ってください。(クリーニングブラシなどでこすらないでください。)



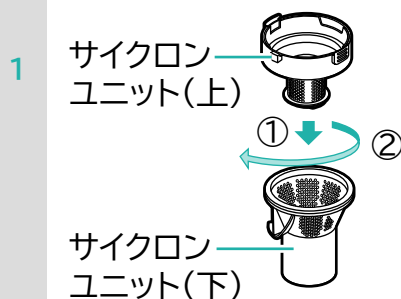
注意

- ・水洗いした後、よく水を切り、風通しのよい場所に約 24 時間置き、十分に乾かしてください。
水分が残っていると、吸い込まれてモーターの故障または異臭の原因になります。
- ・ドライヤーなどの熱風を当てないでください。
変形や故障の原因になります。

ダストカップの組み立て、取り付けかた

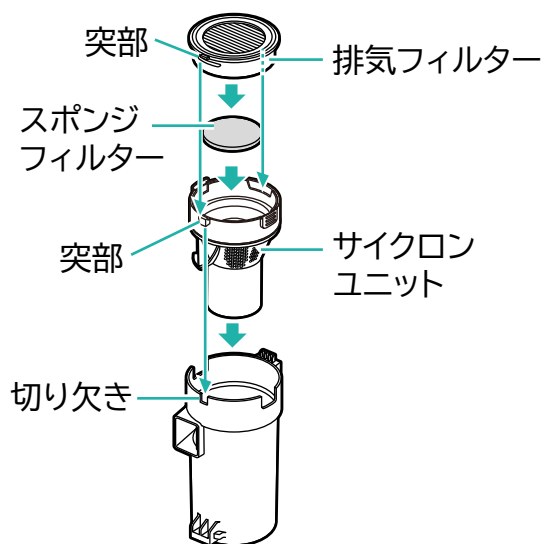
サイクロンユニットを組み立てる

- ・サイクロンユニット(上)をサイクロンユニット(下)にはめ込み(①)、押しながら回して取り付けます(②)。



サイクロンユニット・排気フィルター・スポンジ フィルターを組み立てる

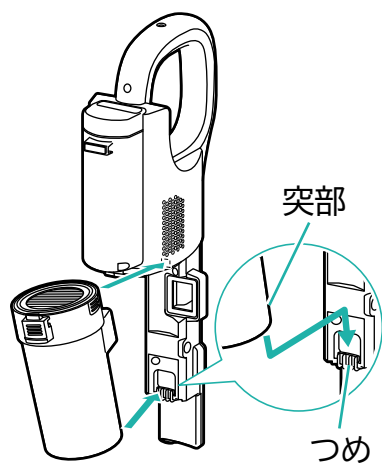
- ・スポンジフィルターをサイクロンユニット中央のくぼみに入れてから、排気フィルターをサイクロンユニットに取り付け、サイクロンユニットをダストカップケースに取り付けます。



※ サイクロンユニットの突部をダストカップケースの切り欠きに合わせて、真っすぐ奥までしっかり取り付けてください。

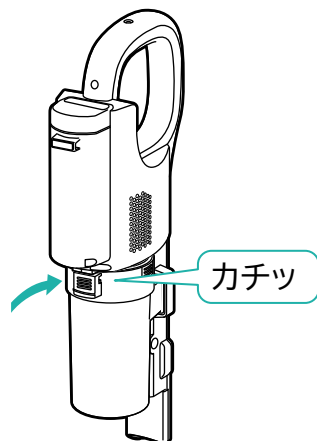
ダストカップ下端の突部を本体のつめにひっかける

3



ダストカップ上部を、カチッと鳴るまで押し込む

4



※ ダストカップ取り外しボタンが確実に閉まっていることを確認してください。

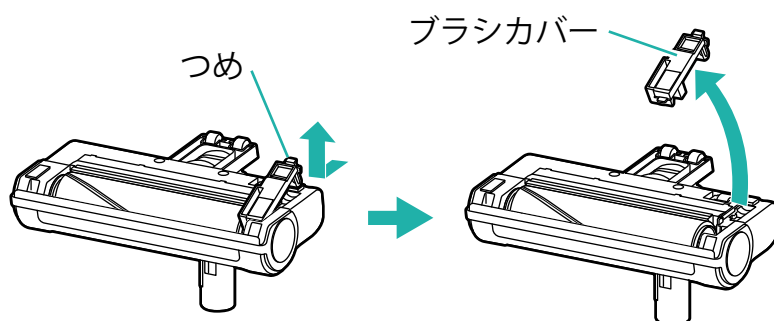
—回転ブラシ(フロアヘッド)

回転ブラシの取り外しかた

ブラシカバーを取り外す

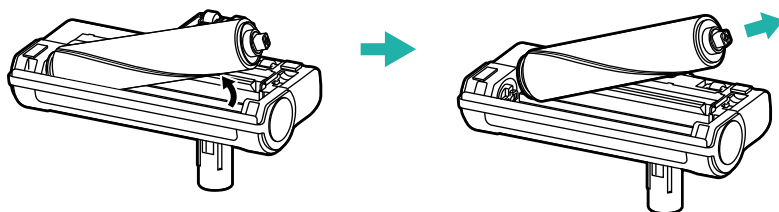
- ブラシカバーのつめを押し下げて手前に引き、ブラシカバーを取り外します。

1



回転ブラシを外す

2



ごみを取り除き水洗いする

- ・ 回転ブラシに巻き付いたごみをハサミや ピンセットなどで取り除いてください。
- ・ 水洗いした後、よく乾かしてください。

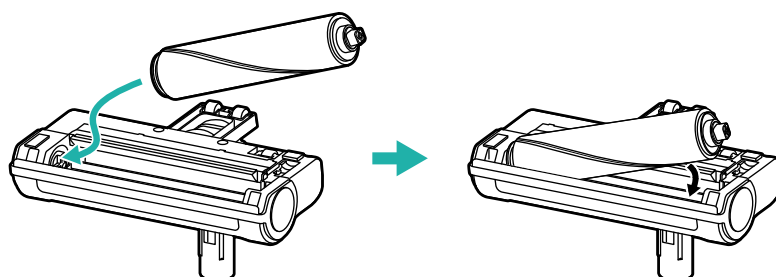


※ 回転ブラシのメンテナンスは定期的におこなってください。

回転ブラシの取り付けかた

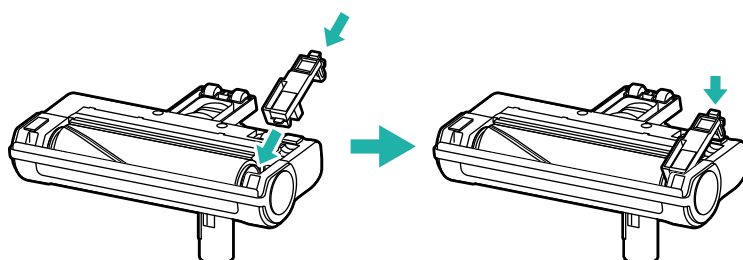
回転ブラシを取り付ける

1



2 ブラシカバーの先端をフロアヘッドの前端内側にひっかける

カチッと音がするまで押し込んで、ブラシカバーを取り付ける



汚れが目立ってきたら

—回転ブラシ(布団用パワーヘッド)

回転ブラシの取り外しかた

ブラシカバーを取り外す

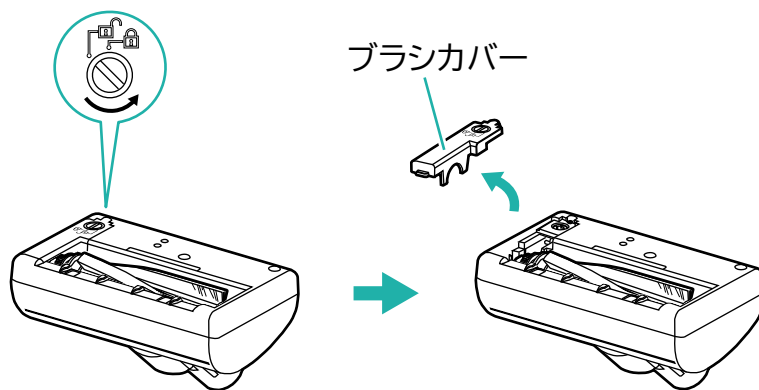
- コインなどでブラシカバーのロックねじを解除(



)の方に回し、ブラシカバーを

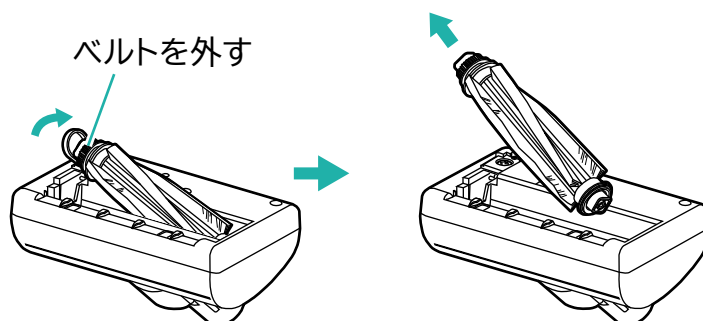
取り外します。

1



2 回転ブラシのベルト側を持ち上げてベルトを外す

回転ブラシをベルト側に引いて、反対側の回転軸から取り外す



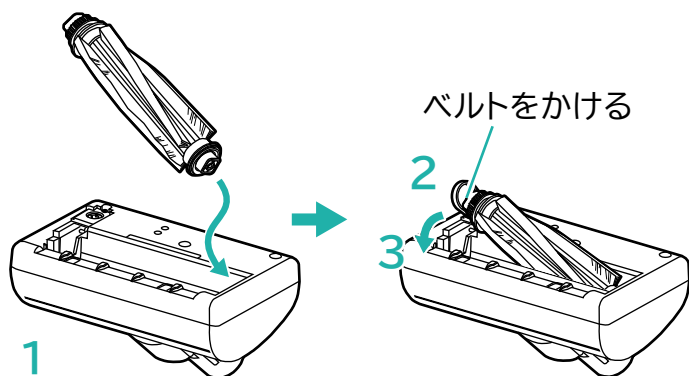
回転ブラシを水洗いする

- 回転ブラシに巻き付いたごみをハサミや ピンセットなどで取り除いてください。
- 水洗いした後、よく乾かしてください。



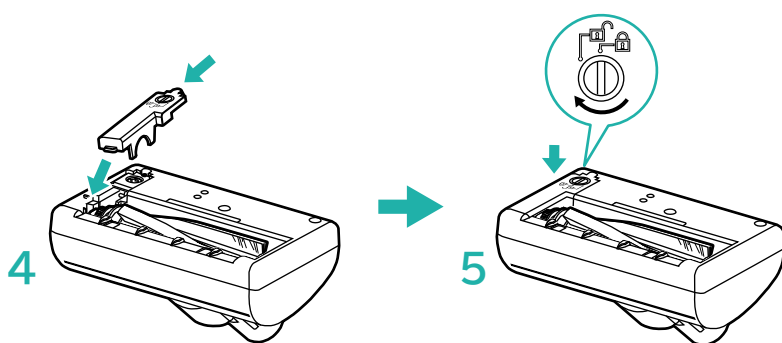
回転ブラシの取り付けかた

- 1 回転ブラシの歯車の付いていないほうを、ベルトと反対側の回転軸に差し込む
- 2 歯車にベルトをかける
- 3 回転ブラシをはめ込む



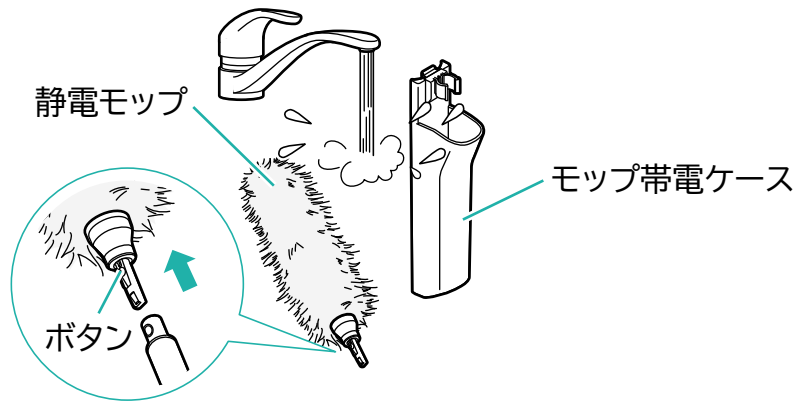
- 4 回転ブラシの歯車の付いていないほうを、ベルトと反対側の回転軸に差し込む

- 5 ブラシカバーを押さえながら、コインなどでロックねじをロック()の方へ回す



— 静電モップ・モップ帯電ケース

- モップ帯電ケースを水洗いし、よく水を切り、よく乾かしてください。
- 静電モップは、ハンドルを取り外し、モップ部を水洗いして、よく水を切り、よく乾かしてください。



※ ハンドルを取り外すには、ハンドルの先端のボタンを押しながら、モップ部を引き抜いてください。

故障かな？と思ったら

電源・充電について

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

お問い合わせについては、「[クリーナーに関するよくあるお問い合わせ](#)」でもご確認いただけます。

— 電源が入らない(動作しない)

→ バッテリーが消耗していませんか？

本機を充電プラグにつなぐか、充電スタンドに立てかけ、充電してください。

— 充電しても運転時間が短い

→ 室温が低すぎる場所や高すぎる場所で充電していませんか？

室温が低すぎる場所や高すぎる場所で充電すると、正常に充電できないことがあります。5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。

→ バッテリーが寿命に達していませんか？

正しく充電しても使用時間が著しく短くなったときは、バッテリーを新しいものに交換してください。（[バッテリーの交換 P95](#)）

— 充電されない

→ 充電アダプターをコンセントに確実に差し込んでいますか？

充電アダプターをコンセントに確実に差し込んでください。

→ 充電ジャックに充電プラグを確実に差し込んでいますか？

充電スタンド背面の充電ジャックに、充電プラグを確実に差し込んでください。

→ 充電コネクタが充電スタンドのフックに確実に接続されていますか？

クリーナーの充電コネクタが充電スタンドのフックに確実に接続されるようにクリーナーを立てかけてください。

— 充電時、バッテリーランプが消えない

→ 室温・使用時間などにより充電時間が長くなる場合があります

- 5～35℃の、直射日光の当たらない場所で充電してください。
- 5 時間以上充電してもバッテリーランプが消えない場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールへご連絡ください。

— 充電中、本体や充電アダプターが温くなる

→ 充電電流が流れているため、バッテリーや回路が少し発熱します
異常ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。



警告

- ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- [お問い合わせ先 P98](#)

動作について(吸引力)

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

お問い合わせについては、「[クリーナーに関するよくあるお問い合わせ](#)」でもご確認いただけます。

— 吸引力が弱い

→ バッテリーの残量が少なくなっていないですか？

本機を充電プラグにつなぐか、充電スタンドに立てかけ、充電してください。

→ ダストカップがきちんと取り付けられていますか？

ダストカップをきちんと取り付けてください。

→ ヘッドの溝にごみが溜まっていませんか？

クリーニングブラシを使って清掃してください。(お手入れ 1 か月に 1 回程度 P65)

— 吸引力が弱い、運転音大きい

→ フロアヘッド内部にごみがつまっていますか？

フロアヘッド内部をお手入れしてください。(お手入れ 1 か月に 1 回程度 P65)

→ ダストカップにごみが溜まっていませんか？

ダストカップのごみを捨ててください。ごみすてライン以上にごみをためないでください。(ごみ捨て P59)

→ 排気フィルター・スポンジフィルターが目詰まりしていませんか？

ダストカップを取り外して、排気フィルター・スポンジフィルターのお手入れをしてください。

→ 本体風路・フロアヘッド・延長パイプにごみがつまっていますか？

つまっているごみをお手入れして取り除いてください。(お手入れ 1 か月に 1 回程度 P65)

— 運転中に吸引力が強くなったり弱くなったりする

→ 自動モードで運転していると、センサーランプの色に合わせて吸引力の強弱が切り替わります

異常ではありません。

— センサーランプの色が変わったのに、吸引力が変わらない

→ 標準またはターボモードで運転していませんか？

標準またはターボモードで運転すると、センサーランプの色に関係なく、そのモードで運転します。センサーランプに合わせて吸引力を変えたいときは、自動モードで運転してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ先 P98](#)

動作について(回転ブラシ・その他)

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

お問い合わせについては、「[クリーナーに関するよくあるお問い合わせ](#)」でもご確認いただけます。

—ダストカップが取り付けできない

→ダストカップ下側の突部が本体のつめに確実にひっかかるようにしてから、上部を押し込んでください

—回転ブラシが止まる

→回転部にゴミやひもが巻きついたり、つまっていたりしていませんか？

フロアヘッドのお手入れをしてください。([お手入れ 1 か月に 1 回程度 P65](#))

—使用中、本体が温くなる

→バッテリーやモーターの発熱のため、本体が少し温くなります

異常ではありません。

—充電スタンドに立てかけてあるのに回転ブラシが回転する

→静電モップのゴミを取り除くため、充電スタンドの上でも回転ブラシは回転します
異常ではありません。

→クリーンモード動作時は、充電スタンドの上でも回転ブラシが回転します
異常ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- [お問い合わせ先 P98](#)

センサーランプについて

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

お問い合わせについては、「[クリーナーに関するよくあるお問い合わせ](#)」でもご確認いただけます。

—ごみを吸っていないのに、センサーランプが赤く点灯する

→ほこり感知センサーが汚れていませんか？

ほこり感知センサーを清掃してください。(お手入れ 1 か月に 1 回程度 P65)

—センサーランプが青にならない

→カーペット・寝具などで使用している場合は、遊び毛や内部にたまったハウスダストを感知するため、連続して赤く光ることがあります
異常ではありません。

—センサーランプが赤くならない

→ヘッドまたはアタッチメントを取り付けずに使用していませんか？

ヘッドまたはアタッチメントを取り付けずに使用していると、ほこり感知センサーに外光が入って誤動作することがあります。必ずフロアヘッドまたは付属のアタッチメントを取り付けて使用してください。(クリーナーを組み立てる・分解する P35)

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ先 P98](#)
- ・ [ほこり感知センサー P49](#)

その他の情報

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [危険 P85](#)

→ [警告 P86](#)

→ [注意 P88](#)

図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------

	危険	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれが高い、差し迫った内容を示しています。
---	-----------	--

	バッテリーについての注意 ・ バッテリー交換するときは、説明書にしたがい正しく入れる 間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。 ・ 電解液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗う 目に傷害が発生するおそれがあります。 洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。
 分解禁止	・ バッテリーは分解しない 発熱・破裂により、火災やけがの原因になります。
	・ 指定以外のバッテリーは使用しない ・ 指定以外の方法で充電しない ・ 当社指定の機種以外に使用しない ・ 高温になる場所・直射日光の当たる場所で充電しない ・ バッテリーを火に投げ入れたり、加熱したりしない ・ バッテリーを高いところから落としたり、投げつけたり、釘をさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしない

- ・ バッテリーを水につけない
発熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。



警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- ・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、充電アダプターをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

- 異常な音やにおいがする
 - 充電アダプターが異常に熱くなる
- ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール](#)へお問い合わせください。

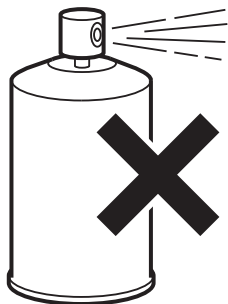


水ぬれ禁止

- ・ 雨の中や水まわり、風呂場などぬれるおそれのある場所では絶対に使用しない
- ・ 本体や充電アダプターを水につけたり、水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。



- ・ スプレーをかけたり、吸わせたりしない(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)

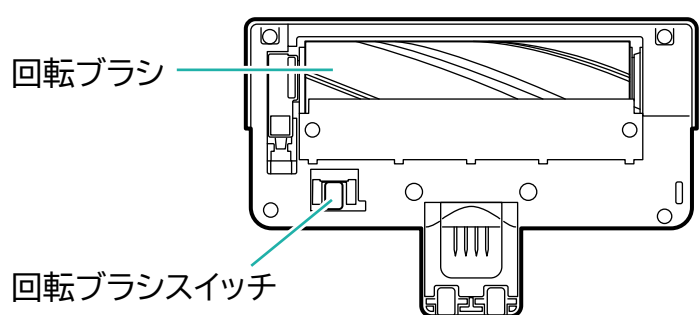


- ・ 引火性のもの(灯油・ガソリン・シンナー・コピーのトナーなど)、可燃性のものを吸わせない
- ・ 油煙や湯気を吸わせない
- ・ カーペット用洗剤など、泡状・液状のものを吸わせない
- ・ 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
吸い込むと火災の原因になります。

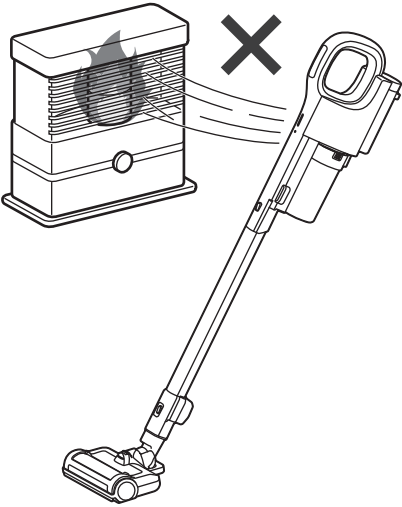


充電アダプターは正しく使う

- ・ 充電アダプターのプラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。

	充電アダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
 ぬれ手禁止	ぬれた手で充電アダプターの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	- 充電アダプターが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 - 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。 - 乳幼児に充電アダプターをなめさせない けがや感電の原因になります。
 分解禁止	分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールへお問い合わせください。
	フロアヘッドの回転ブラシや回転ブラシスイッチに触れない 巻き込まれてけがの原因になります。特に、小さな子どものいる近くではクリーナーを使用しないでください。 
	バッテリーについての注意 電解液がもれたり、異臭がするときは、直ちに火気から遠ざける 引火するおそれがあります。

	電解液が皮膚や衣服についたときは、すぐに洗い流す 皮膚炎や衣服の損傷の原因になります。
	- 電解液がもれたり、異臭がするときは、使用しない 発熱・発火・周囲の汚損の原因になります。 - バッテリーを交換するときは、乳幼児の手の届く所に置かない 感電やけがの原因になります。
 注意 誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。	
	- 掃除以外の用途に使用しない 異常動作・火災の原因になります。 - 業務など家庭用以外で使用しない 本製品は家庭用として設計されています。 業務など家庭用以外で使用すると、火災などの原因になります。
	運転中にダストカップを取り外さない 事故の原因になります。
	- 吸い込み口がふさがれたまま運転を続けない - 排気口をふさがない 過熱による変形・故障・火災の原因になります。

 火気禁止	火気・暖房器具などに近づけない 吹き出す風で暖房器具の炎が大きくなり火災などの原因になります。 
	- 乗ったり、寄りかかったりしない - 幼児の手の届く範囲では使用しない - 子どもに遊ばせない けがの原因になります。 - 屋外では使用しない 故障してショートや火災の原因になります。
 プラグを抜く	- 充電アダプターを抜くときは、充電コードを持たずに必ず充電アダプター本体を持って引き抜く 充電コードが破損し、火災・感電の原因になります。 - 使用後は、必ず充電アダプターをコンセントから抜く 火災・感電の原因になります。

使用上の注意

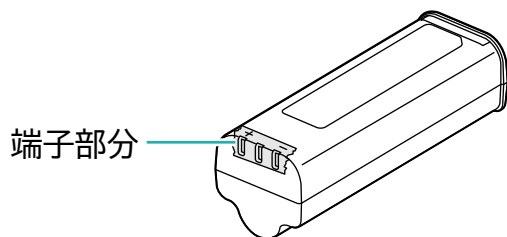
- ・ 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
 - 水や液体、ぬれたごみなど
 - 多量の粉(消火器の消火剤など)
 - 針やピンなどの鋭利な金属、ガラスなど
 - 多量の砂、小石など
 - ペットの糞などが付着したもの
 - 多量のごみ
 - 大きなごみ
 - ビニール袋やストッキングなど内部につまりやすいもの
- ・ ダストカップのごみは、ごみすてライン(目安)を超える前に捨ててください。
- ・ 本製品は防磁設計ではありません。本製品の近くに時計や磁気カード(クレジットカード)など磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。

廃棄について

- ・ 製品を廃棄する場合は、バッテリーを取り外し、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

バッテリーの廃棄について

- ・ 取り外して、最寄りの充電リサイクル協力店にお持ち込みください。一般家庭ごみとして捨てないでください。
- ・ 取り外したバッテリーは、コネクタなどの端子部分をテープで絶縁してください。



関連ページ

- ・ [バッテリーの交換 P95](#)

仕様

型番		SCD-190P	SCD-S1P
集じん容積	ごみすてラインまで	0.2L	
	最大容積	0.3L	
充電温度		5 ～ 35℃	
連続使用時間※1	ターボ	約 9 分	
	標準	約 17 分	
	自動	約 35 分(使用状態により異なります。)	
	ちりとり	約 120 分(使用状態により異なります。)	
バッテリー		リチウムイオン 2 次電池	
バッテリー容量		2,500mAh	
バッテリー寿命		繰り返し充電 約 1,000 回	
定格電圧		DC22.2V	
充電電源(充電アダプター)	入力	AC100-240 V、50/60Hz	
	出力	DC26.4V、0.9A	
充電時間		約 4 時間 (室温・使用時間などにより充電時間が長くなることがあります。)	
製品寸法	フロアヘッド・延長パイプ含む	幅 259×奥行 275×高さ 980mm	
	充電スタンド設置時(アタッチメント含まず)	幅 275×奥行 288×高さ 1041mm	
製品質量	本体のみ	1.3kg	
	フロアヘッド・延長パイプ・バッテリー含む	1.9kg	
	充電スタンド	1.4kg	
付属品		充電アダプター、充電スタンド、静電モップ、モップ帯電ケース、すき間ノズル、ブラシノズル、クリーニングブラシ	充電アダプター、充電スタンド、静電モップ、モップ帯電ケース、すき間ノズル、ブラシノズル、フレキシブルホース、ミニヘッド、布団用パワーヘッド、クリーニングブラシ、アタッチメント収納袋

※1 満充電、バッテリー初期温度:20℃

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

別売品・消耗部品について

別売品・消耗部品についてはお買い上げの販売店または[アイリスプラザ](#)でお買い求めください。

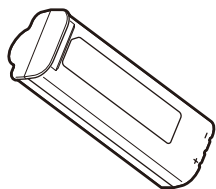
アイリスプラザのサイトでは、「キーワードで検索」に型番を入力して検索してください。

全ての商品	▼	キーワードで検索	🔍
-------	---	----------	---

ご注意ください 【悪質な偽装サイトにご注意ください】

バッテリー

CBL21625



排気フィルター

CFT79



静電モップ
CHM03-W

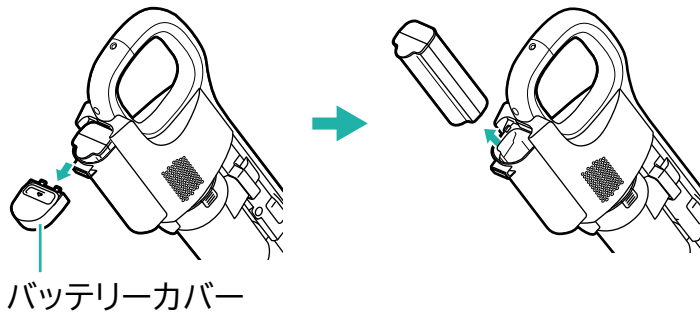


バッテリーの交換

正しく充電しても使用期間が著しく短くなったときは、バッテリーを新しいものに交換してください。バッテリー（別売品）の購入については[別売品・消耗部品について P93](#) を参照してください。

— バッテリーの外しかた

ハンドル部分にあるバッテリーカバーを押し込みながら手前に引いて外し、バッテリーを引き抜く



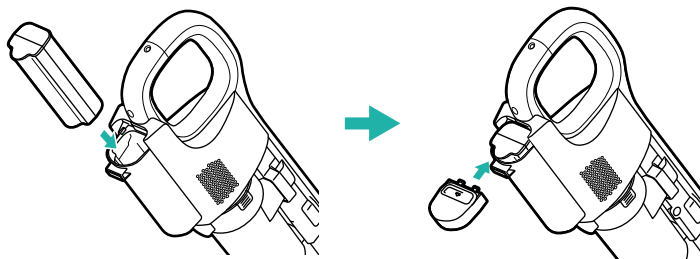
※ 取り外した使用済みバッテリーは、端子部分をテープで絶縁し、リサイクル協力店にお持ちください。一般家庭ごみとして捨てないでください。



リチウムイオン電池は
リサイクルへ

— バッテリーの取り付けかた

バッテリーを奥まできちんと押し込み、バッテリーカバーをはめる



注意

- ・ バッテリーを取り付けたり、取り外す際は、指をはさまないようにご注意ください。

保証とアフターサービス

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール](#)にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール](#)にお問い合わせください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール：[0120-311-564](tel:0120-311-564)（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

修理専用コール：[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)（通話料無料）

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>